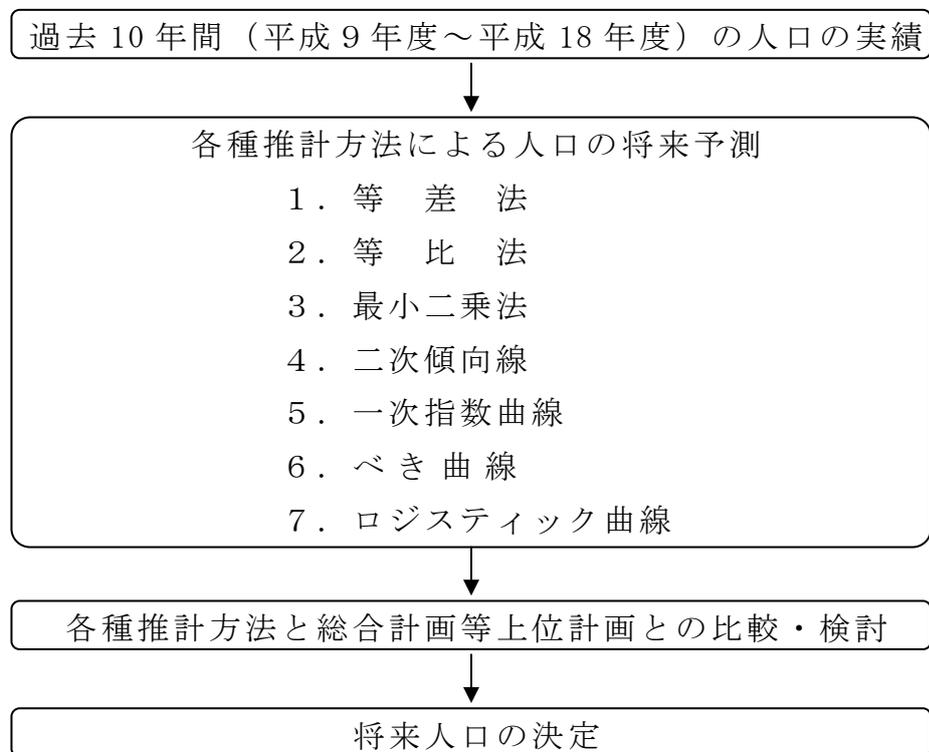


資料 1 計画処理区域内人口の予測（本編 P27～28 参照）

将来の計画処理区域内人口に関しては、以下の方法により比較・検討し、最も妥当な推計値を決定します。



本市における人口の将来予測にあたっては、平成 9 年度から平成 18 年度までの過去 10 年間における旧市町の人口の実績をもとに、厚生省監修のごみ処理施設構造指針解説による 7 法の推計方法を用いて、実績のトレンドと将来のトレンドが無理のない線を描くように留意します。

本市の人口は、過去 10 年間において緩やかに減少しています。予測結果をみると、ほとんどの推計式にて緩やかな減少傾向を示していますが、当然ながら人口の減少を緩和する施策を講じているため、急激な減少は起こらないものと考えられます。よって、緩やかな減少傾向を示している推計式の中で相関係数が最も 1 に近い推計方法により求められた推計値を採用し、その合計値を本市の将来の人口予測値として採用します。

表 1 - 1 に計画処理区域人口の実績とその見込みを、図 1 - 1 に 7 法の推計方法における人口の実績と将来予測の結果を示します。

表 1 - 1 計画処理区域人口の実績とその見込み

単位：人

		五 泉 市	五 泉 地 区	村 松 地 区
実 績	平成9年度	60,786	39,459	21,327
	平成10年度	60,606	39,346	21,260
	平成11年度	60,339	39,217	21,122
	平成12年度	60,025	39,058	20,967
	平成13年度	59,727	38,872	20,855
	平成14年度	59,389	38,659	20,730
	平成15年度	59,163	38,538	20,625
	平成16年度	58,704	38,333	20,371
	平成17年度	58,162	38,086	20,076
	平成18年度	57,681	37,884	19,797
予 測	平成19年度	57,586		
	平成20年度	57,246		
	平成21年度	56,906		
	平成22年度	56,566		
	平成23年度	56,225		
	平成24年度	55,885		
	平成25年度	55,545		
	平成26年度	55,204		
	平成27年度	54,864		
	平成28年度	54,524		
	平成29年度	54,183		
	平成30年度	53,843		
	平成31年度	53,503		
	平成32年度	53,162		
	平成33年度	52,822		
	採用推計式	最小二乗法		

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等 差 法	等 比 法	最小二乗法	二次傾向線	一次指数曲線	べ き 曲 線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.989977	0.988980	0.989976	0.998730	0.988994	#NUM!	#NUM!	
実 績	平成	9	60,786	60,786	60,786	60,786	60,786	60,786	
		10	60,606	60,606	60,606	60,606	60,606	60,606	
		11	60,339	60,339	60,339	60,339	60,339	60,339	
		12	60,025	60,025	60,025	60,025	60,025	60,025	
		13	59,727	59,727	59,727	59,727	59,727	59,727	
		14	59,389	59,389	59,389	59,389	59,389	59,389	
		15	59,163	59,163	59,163	59,163	59,163	59,163	
		16	58,704	58,704	58,704	58,704	58,704	58,704	
		17	58,162	58,162	58,162	58,162	58,162	58,162	
予 測		18	57,681	57,681	57,681	57,681	57,681	57,681	
		19	57,336	57,346	57,586	57,192	57,604	#NUM!	#NUM!
		20	56,991	57,013	57,246	56,637	57,274	#NUM!	#NUM!
		21	56,646	56,682	56,906	56,045	56,947	#NUM!	#NUM!
		22	56,301	56,352	56,566	55,418	56,621	#NUM!	#NUM!
		23	55,956	56,025	56,225	54,755	56,297	#NUM!	#NUM!
		24	55,611	55,700	55,885	54,056	55,975	#NUM!	#NUM!
		25	55,266	55,376	55,545	53,321	55,655	#NUM!	#NUM!
		26	54,921	55,054	55,204	52,551	55,337	#NUM!	#NUM!
		27	54,576	54,735	54,864	51,744	55,020	#NUM!	#NUM!
		28	54,231	54,417	54,524	50,902	54,705	#NUM!	#NUM!
		29	53,886	54,101	54,183	50,024	54,393	#NUM!	#NUM!
		30	53,541	53,786	53,843	49,110	54,081	#NUM!	#NUM!
		31	53,196	53,474	53,503	48,160	53,772	#NUM!	#NUM!
		32	52,851	53,163	53,162	47,174	53,465	#NUM!	#NUM!
		33	52,506	52,854	52,822	46,153	53,159	#NUM!	#NUM!
採用推計式				採用式					

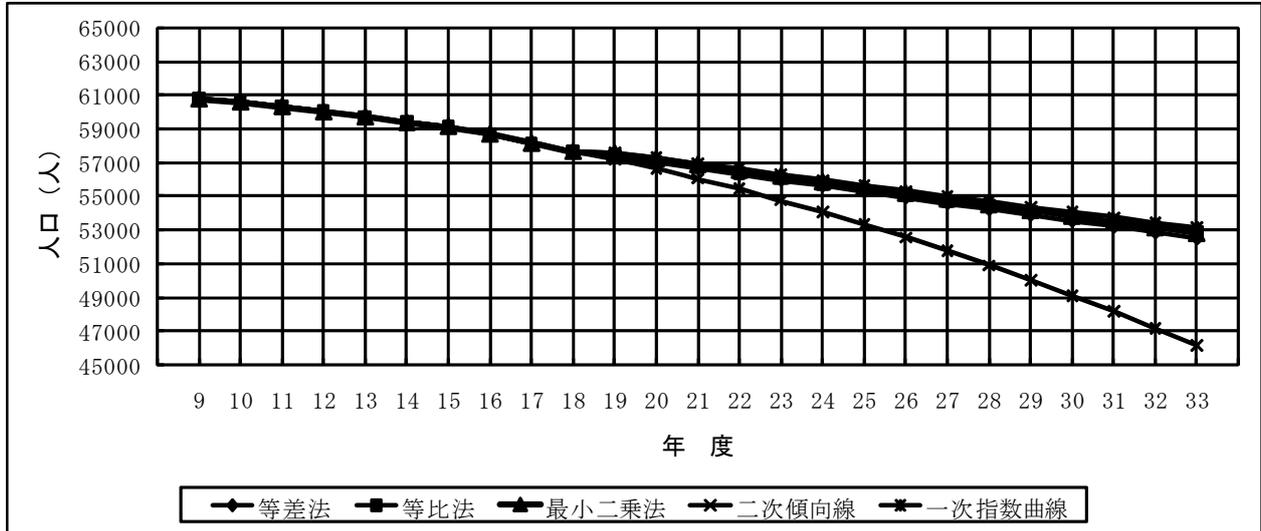
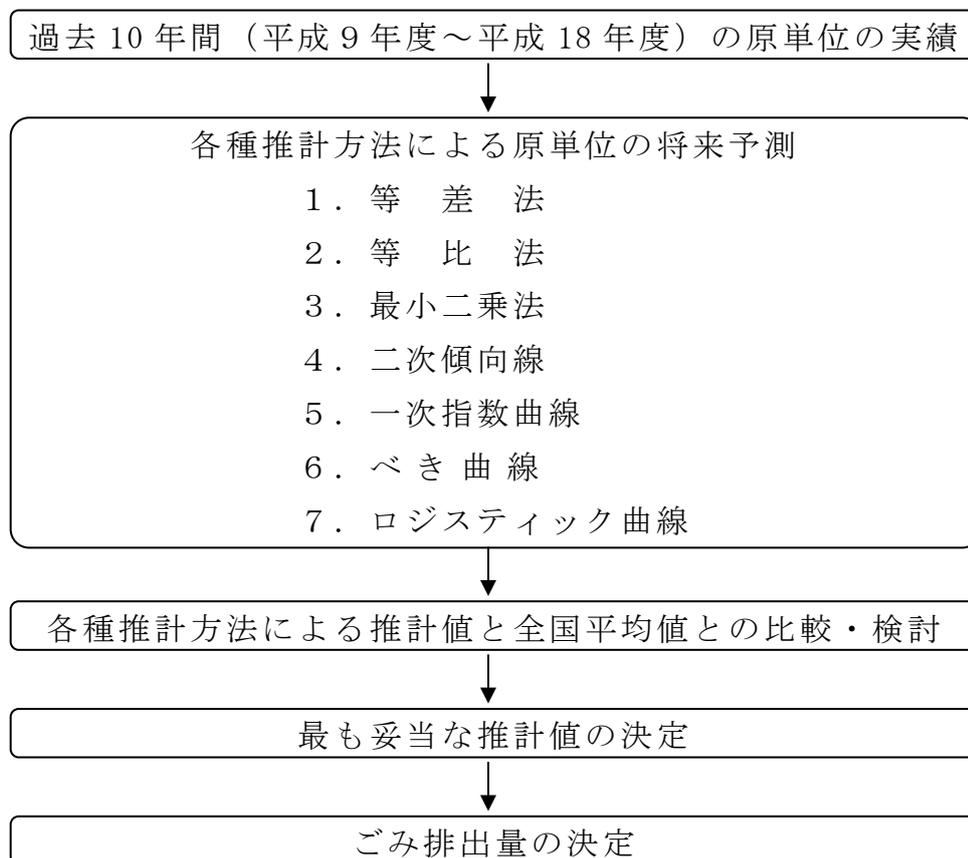


図 1 - 1 7 法の推計方法における人口の実績と将来予測

資料 2 収集ごみ排出量の予測（本編 P29～36 参照）

1. 一人一日排出量の予測

将来の原単位の予測に関しては、以下の方法により比較・検討し最も妥当な推計値を決定します。



ごみ排出量の将来予測にあたっては、平成 9 年度から平成 18 年度までの種類別の原単位をもとに、厚生省監修のごみ処理施設構造指針解説による 7 法の推計方法を用いて、実績のトレンドと将来のトレンドが無理のない線を描くように留意します。

本市における収集ごみの種類別原単位の推計値に関する採用理由は次に示すとおりです。

【燃えるごみ：家庭系】

家庭系にて収集される燃えるごみの原単位は、ほぼ横ばいにて推移しています。将来の家庭系にて収集される燃えるごみの原単位を予測すると、緩やかな増加傾向にて推移していく推計式が多くなっていますので、緩やかな増加傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も 1 に近い「一次指数曲線」による推計値を将来の家庭系にて収集される燃えるごみの原単位として採用します。

【燃えるごみ：事業系】

事業系にて収集される燃えるごみの原単位は、緩やかな増加傾向にて推移しています。将来の事業系にて収集される燃えるごみの原単位も緩やかな増加傾向にて推移していくものと考えられますので、緩やかな増加傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も 1 に近い「等差法」による推計値を将来の事業系にて収集される燃えるごみの原単位として採用します。

【燃えないごみ：家庭系】

家庭系にて収集される燃えないごみの原単位は、減少傾向にて推移しています。将来の家庭系にて収集される燃えないごみの原単位も減少傾向にて推移していくものと考えられますので、原単位の変動が少なく、相関係数が最も 1 に近い「等比法」による推計値を将来の家庭系にて収集される燃えないごみの原単位として採用します。

【燃えないごみ：事業系】

事業系にて収集される燃えないごみの原単位は、僅かながら増加傾向にて推移しています。将来の事業系にて収集される燃えないごみの原単位も現状と同様な傾向にて推移していくものと考えられますので、原単位の変動が少なく、相関係数が最も 1 に近い「べき曲線」による推計値を将来の事業系にて収集される燃えないごみの原単位として採用します。

【資源ごみ：新聞紙】

収集される新聞紙の原単位は、緩やかな増加傾向にて推移しています。将来の収集される新聞紙の原単位も緩やかな増加傾向にて推移していくものと考えられますので、緩やかな増加傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も 1 に近い「べき曲線」による推計値を将来の収集される新聞紙の原単位として採用します。

【資源ごみ：雑誌類】

収集される雑誌類の原単位は、平成 14 年度までは増加傾向を、平成 15 年度から平成 18 年度においては減少傾向を示しています。将来の収

集される雑誌類の原単位を予測すると、緩やかな増加傾向にて推移していく推計式が多くなっていますので、緩やかな増加傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も1に近い「べき曲線」による推計値を将来の収集される雑誌類の原単位として採用します。

【資源ごみ：ダンボール】

収集されるダンボールの原単位は、若干下がった時期があるものの、全体的には僅かながらではありますが増加傾向にて推移しています。将来の収集されるダンボールの原単位も現状と同様な傾向にて推移していくものと考えられますので、原単位の変動が少なく、相関係数が最も1に近い「一次指数曲線」による推計値を将来の収集されるダンボールの原単位として採用します。

【資源ごみ：ペットボトル】

収集されるペットボトルの原単位は、僅かながら増加傾向にて推移しています。将来の収集されるペットボトルの原単位も現状と同様な傾向にて推移していくものと考えられますので、原単位の変動が少なく、相関係数が最も1に近い「等差法」による推計値を将来の収集されるペットボトルの原単位として採用します。

【有害ごみ】

収集される有害ごみの原単位は、平成13年度以降ほぼ横ばいにて推移しています。将来の収集される有害ごみの原単位もほぼ横ばいにて推移していくものと考えられますので、平成13年度から平成18年度までの原単位の平均値を将来の収集される有害ごみの原単位として採用します。

以上の結果より、表2-1に収集ごみの原単位実績とその見込みを、図2-1～8に7法の推計方法におけるごみの種類別原単位実績と将来予測の結果を示します。

表2-1 収集ごみの原単位実績とその見込み

単位：g/人/日

	燃えるごみ		燃えないごみ		資源ごみ				有害ごみ	合計
	家庭系	事業系	家庭系	事業系	新聞紙	雑誌類	タビポール	ペットボトル		
平成9年度	749.94	145.30	107.80	8.78	—	—	—	—	—	1,011.82
平成10年度	686.31	179.17	102.55	11.05	18.44	21.21	2.19	—	—	1,020.92
平成11年度	639.39	193.09	95.03	15.87	23.61	25.93	3.85	1.87	—	998.64
平成12年度	603.41	213.32	90.05	16.94	32.13	32.91	16.85	5.06	0.47	1,011.14
平成13年度	605.81	220.08	78.35	18.53	36.48	37.39	20.35	4.18	1.33	1,022.50
平成14年度	601.07	229.64	77.49	19.33	38.99	40.67	21.46	5.92	1.43	1,036.00
平成15年度	610.63	238.00	76.93	20.19	39.52	37.40	21.86	4.81	1.32	1,050.66
平成16年度	608.56	268.46	71.16	19.02	40.19	37.26	18.41	5.44	1.30	1,069.80
平成17年度	634.91	289.03	72.12	19.28	43.55	35.02	18.97	6.34	1.24	1,120.46
平成18年度	641.31	254.56	62.01	14.28	46.81	33.54	24.85	8.50	1.07	1,086.93
平成19年度	640.84	261.43	58.31	20.67	51.30	40.24	22.94	9.07	1.28	1,106.08
平成20年度	647.48	268.31	54.84	21.25	53.92	41.15	23.66	9.65	1.28	1,121.54
平成21年度	654.20	275.18	51.57	21.81	56.46	42.02	24.41	10.22	1.28	1,137.15
平成22年度	660.99	282.05	48.50	22.34	58.95	42.84	25.18	10.79	1.28	1,152.92
平成23年度	667.84	288.93	45.61	22.85	61.37	43.62	25.98	11.37	1.28	1,168.85
平成24年度	674.77	295.80	42.89	23.34	63.75	44.38	26.80	11.94	1.28	1,184.95
平成25年度	681.77	302.67	40.33	23.82	66.08	45.10	27.65	12.51	1.28	1,201.21
平成26年度	688.85	309.55	37.93	24.28	68.36	45.80	28.52	13.09	1.28	1,217.66
平成27年度	695.99	316.42	35.67	24.73	70.61	46.47	29.42	13.66	1.28	1,234.25
平成28年度	703.21	323.29	33.54	25.17	72.83	47.12	30.35	14.23	1.28	1,251.02
平成29年度	710.51	330.17	31.55	25.59	75.00	47.75	31.31	14.81	1.28	1,267.97
平成30年度	717.88	337.04	29.67	26.01	77.15	48.36	32.30	15.38	1.28	1,285.07
平成31年度	725.32	343.91	27.90	26.41	79.27	48.96	33.32	15.95	1.28	1,302.32
平成32年度	732.85	350.79	26.24	26.81	81.36	49.54	34.38	16.53	1.28	1,319.78
平成33年度	740.45	357.66	24.67	27.19	83.43	50.11	35.47	17.10	1.28	1,337.36
採用推計式	一次指数曲線	等差法	等比法	べき曲線	べき曲線	べき曲線	一次指数曲線	等差法	平均値	

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等 差 法	等 比 法	最小二乘法	二次傾向線	一次指数曲線	ベ き 曲 線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.857776	0.861441	0.857776	0.955158	0.861527	#NUM!	#NUM!	
実 績	平成	9	749.94	749.94	749.94	749.94	749.94	749.94	
		10	686.31	686.31	686.31	686.31	686.31	686.31	
		11	639.39	639.39	639.39	639.39	639.39	639.39	
		12	603.41	603.41	603.41	603.41	603.41	603.41	
		13	605.81	605.81	605.81	605.81	605.81	605.81	
		14	601.07	601.07	601.07	601.07	601.07	601.07	
		15	610.63	610.63	610.63	610.63	610.63	610.63	
		16	608.56	608.56	608.56	608.56	608.56	608.56	
		17	634.91	634.91	634.91	634.91	634.91	634.91	
予 測		19	647.63	647.85	640.73	662.47	640.84	#NUM!	#NUM!
		20	653.94	654.47	647.13	685.18	647.48	#NUM!	#NUM!
		21	660.26	661.14	653.54	711.52	654.20	#NUM!	#NUM!
		22	666.58	667.89	659.95	741.48	660.99	#NUM!	#NUM!
		23	672.89	674.71	666.35	775.06	667.84	#NUM!	#NUM!
		24	679.21	681.59	672.76	812.27	674.77	#NUM!	#NUM!
		25	685.53	688.55	679.17	853.10	681.77	#NUM!	#NUM!
		26	691.84	695.57	685.57	897.55	688.85	#NUM!	#NUM!
		27	698.16	702.67	691.98	945.63	695.99	#NUM!	#NUM!
		28	704.48	709.84	698.39	997.33	703.21	#NUM!	#NUM!
		29	710.79	717.08	704.80	1,052.66	710.51	#NUM!	#NUM!
		30	717.11	724.40	711.20	1,111.61	717.88	#NUM!	#NUM!
		31	723.43	731.79	717.61	1,174.18	725.32	#NUM!	#NUM!
		32	729.74	739.26	724.02	1,240.37	732.85	#NUM!	#NUM!
		33	736.06	746.80	730.42	1,310.19	740.45	#NUM!	#NUM!
	採用推計式						採用式		

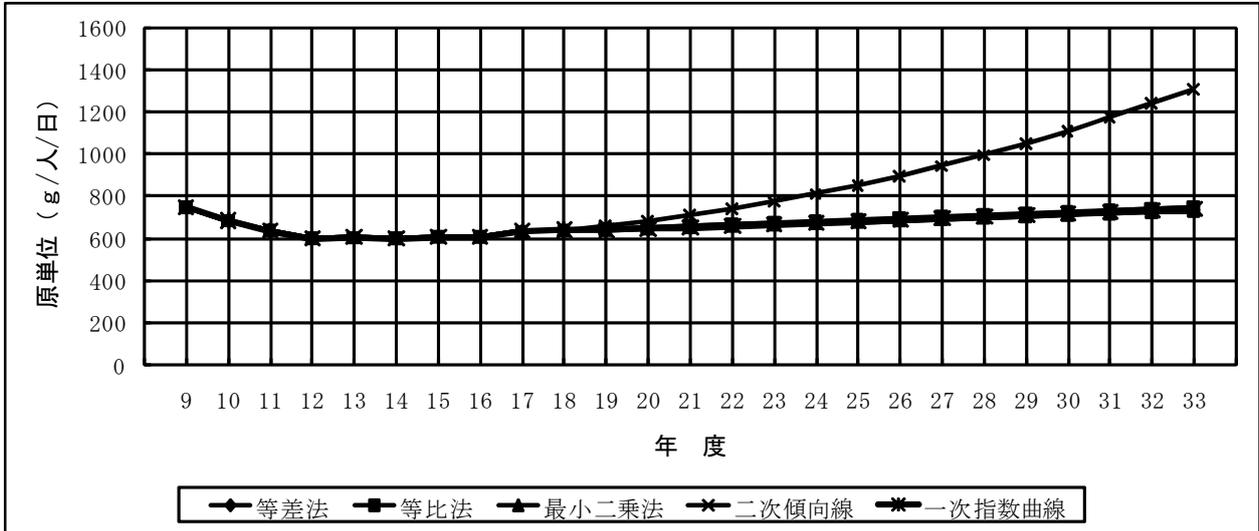


図 2 - 1 7 法の推計方法における燃えるごみ(家庭系)の原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等差法	等比法	最小二乗法	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.847400	0.842514	0.847388	0.865101	0.839725	0.841155	#NUM!	
実績	平成	9	145.30	145.30	145.30	145.30	145.30	145.30	145.30
		10	179.17	179.17	179.17	179.17	179.17	179.17	179.17
		11	193.09	193.09	193.09	193.09	193.09	193.09	193.09
		12	213.32	213.32	213.32	213.32	213.32	213.32	213.32
		13	220.08	220.08	220.08	220.08	220.08	220.08	220.08
		14	229.64	229.64	229.64	229.64	229.64	229.64	229.64
		15	238.00	238.00	238.00	238.00	238.00	238.00	238.00
		16	268.46	268.46	268.46	268.46	268.46	268.46	268.46
		17	289.03	289.03	289.03	289.03	289.03	289.03	289.03
		18	254.56	254.56	254.56	254.56	254.56	254.56	254.56
予測		19	261.43	262.17	287.65	272.38	290.28	294.13	#NUM!
		20	268.31	270.01	298.38	271.65	303.33	308.85	#NUM!
		21	275.18	278.08	309.11	268.38	316.97	324.05	#NUM!
		22	282.05	286.39	319.84	262.57	331.22	339.68	#NUM!
		23	288.93	294.95	330.57	254.21	346.11	355.71	#NUM!
		24	295.80	303.77	341.30	243.31	361.67	372.12	#NUM!
		25	302.67	312.85	352.03	229.86	377.94	388.88	#NUM!
		26	309.55	322.21	362.76	213.86	394.93	405.96	#NUM!
		27	316.42	331.84	373.49	195.32	412.69	423.36	#NUM!
		28	323.29	341.76	384.22	174.23	431.24	441.06	#NUM!
		29	330.17	351.98	394.95	150.60	450.63	459.04	#NUM!
		30	337.04	362.50	405.68	124.43	470.90	477.29	#NUM!
		31	343.91	373.34	416.41	95.71	492.07	495.79	#NUM!
		32	350.79	384.50	427.14	64.44	514.19	514.55	#NUM!
		33	357.66	395.99	437.87	30.63	537.31	533.54	#NUM!
採用推計式		採用式							

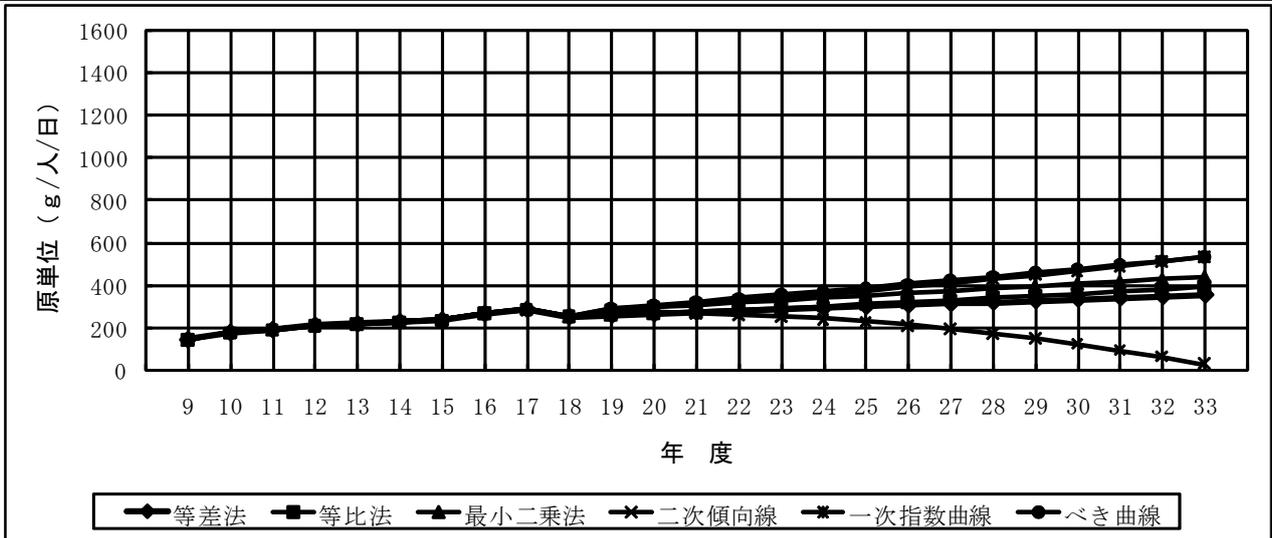


図 2 - 2 7 法の推計方法における燃えるごみ(事業系)の原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等 差 法	等 比 法	最小二乗法	二次傾向線	一次指数曲線	ベ き 曲 線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.971140	0.980191	0.971117	0.982978	0.979713	#NUM!	0.978667	
実 績	平成	9	107.80	107.80	107.80	107.80	107.80	107.80	
		10	102.55	102.55	102.55	102.55	102.55	102.55	
		11	95.03	95.03	95.03	95.03	95.03	95.03	
		12	90.05	90.05	90.05	90.05	90.05	90.05	
		13	78.35	78.35	78.35	78.35	78.35	78.35	
		14	77.49	77.49	77.49	77.49	77.49	77.49	
		15	76.93	76.93	76.93	76.93	76.93	76.93	
		16	71.16	71.16	71.16	71.16	71.16	71.16	
		17	72.12	72.12	72.12	72.12	72.12	72.12	
予 測		19	56.92	58.31	57.19	63.67	60.14	#NUM!	59.80
		20	51.83	54.84	52.44	62.45	56.82	#NUM!	56.35
		21	46.75	51.57	47.68	61.81	53.68	#NUM!	53.07
		22	41.66	48.50	42.93	61.76	50.72	#NUM!	49.97
		23	36.57	45.61	38.17	62.31	47.92	#NUM!	47.04
		24	31.48	42.89	33.41	63.44	45.27	#NUM!	44.26
		25	26.40	40.33	28.66	65.16	42.77	#NUM!	41.64
		26	21.31	37.93	23.90	67.47	40.41	#NUM!	39.16
		27	16.22	35.67	19.15	70.37	38.18	#NUM!	36.82
		28	11.13	33.54	14.39	73.85	36.07	#NUM!	34.61
		29	6.04	31.55	9.64	77.93	34.08	#NUM!	32.53
		30	0.96	29.67	4.88	82.59	32.20	#NUM!	30.56
		31	-4.13	27.90	0.12	87.84	30.42	#NUM!	28.71
		32	-9.22	26.24	-4.63	93.68	28.74	#NUM!	26.97
		33	-14.31	24.67	-9.39	100.11	27.15	#NUM!	25.32
	採用推計式			採用式					

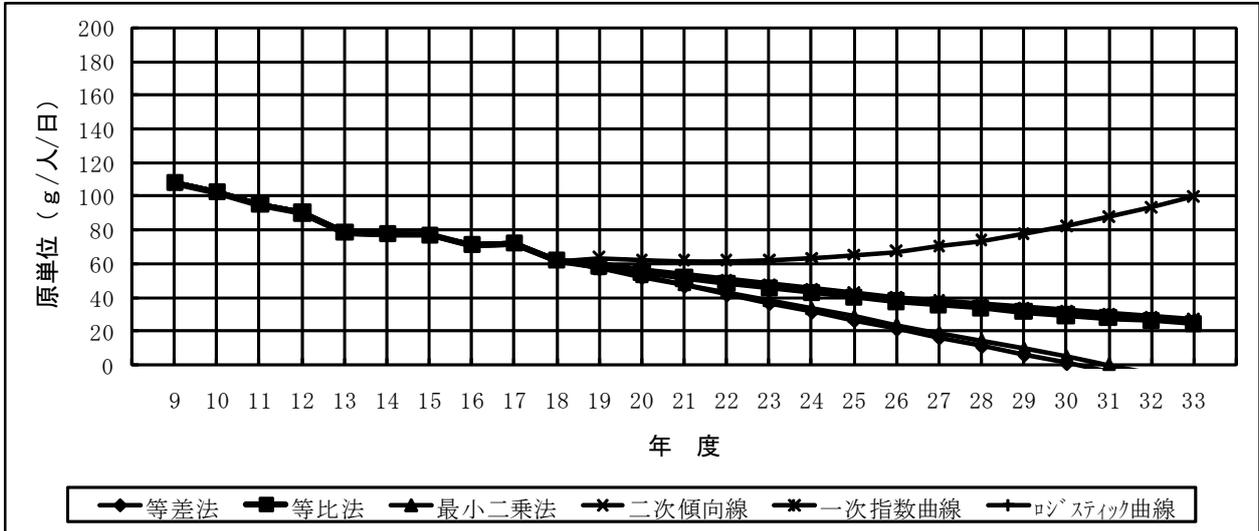


図 2 - 3 7法の推計方法における燃えないごみ(家庭系)の原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等差法	等比法	最小二乗法	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.633663	0.581182	0.633044	0.975039	0.576837	0.777998	0.577640	
実績	平成	9	8.78	8.78	8.78	8.78	8.78	8.78	8.78
		10	11.05	11.05	11.05	11.05	11.05	11.05	11.05
		11	15.87	15.87	15.87	15.87	15.87	15.87	15.87
		12	16.94	16.94	16.94	16.94	16.94	16.94	16.94
		13	18.53	18.53	18.53	18.53	18.53	18.53	18.53
		14	19.33	19.33	19.33	19.33	19.33	19.33	19.33
		15	20.19	20.19	20.19	20.19	20.19	20.19	20.19
		16	19.02	19.02	19.02	19.02	19.02	19.02	19.02
		17	19.28	19.28	19.28	19.28	19.28	19.28	19.28
予測	平成	18	14.28	14.28	14.28	14.28	14.28	14.28	14.28
		19	14.89	15.07	20.77	12.55	21.91	20.67	21.87
		20	15.50	15.91	21.58	8.87	23.24	21.25	23.18
		21	16.11	16.79	22.39	4.45	24.65	21.81	24.56
		22	16.72	17.73	23.20	-0.73	26.15	22.34	26.03
		23	17.34	18.71	24.01	-6.65	27.75	22.85	27.58
		24	17.95	19.75	24.82	-13.32	29.44	23.34	29.22
		25	18.56	20.85	25.63	-20.73	31.23	23.82	30.94
		26	19.17	22.00	26.43	-28.90	33.13	24.28	32.77
		27	19.78	23.23	27.24	-37.81	35.14	24.73	34.70
		28	20.39	24.52	28.05	-47.47	37.28	25.17	36.73
		29	21.00	25.88	28.86	-57.88	39.55	25.59	38.88
		30	21.61	27.31	29.67	-69.03	41.96	26.01	41.14
		31	22.22	28.83	30.48	-80.93	44.51	26.41	43.52
		32	22.84	30.43	31.29	-93.59	47.22	26.81	46.03
		33	23.45	32.12	32.09	-106.98	50.09	27.19	48.67
採用推計式							採用式		

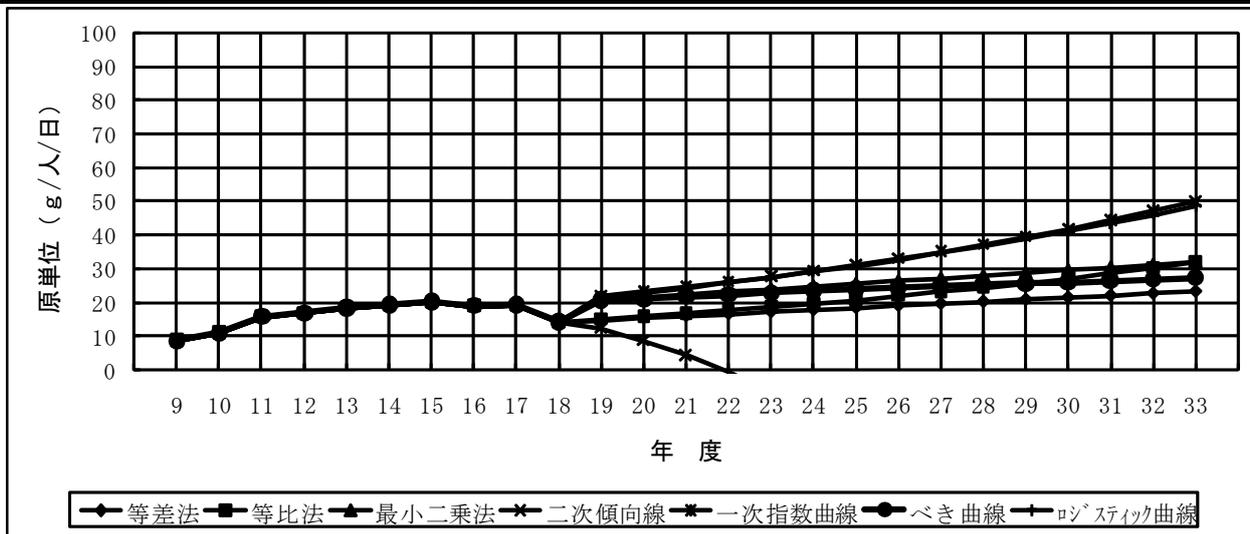


図 2-4 7法の推計方法における燃えないごみ(事業系)の原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等差法	等比法	最小二乘法	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.947422	0.907868	0.947422	0.981328	0.906347	0.974718	#NUM!	
実績	平成	10	18.44	18.44	18.44	18.44	18.44	18.44	18.44
		11	23.61	23.61	23.61	23.61	23.61	23.61	23.61
		12	32.13	32.13	32.13	32.13	32.13	32.13	32.13
		13	36.48	36.48	36.48	36.48	36.48	36.48	36.48
		14	38.99	38.99	38.99	38.99	38.99	38.99	38.99
		15	39.52	39.52	39.52	39.52	39.52	39.52	39.52
		16	40.19	40.19	40.19	40.19	40.19	40.19	40.19
		17	43.55	43.55	43.55	43.55	43.55	43.55	43.55
予測	令和	18	46.81	46.81	46.81	46.81	46.81	46.81	46.81
		19	50.36	52.59	51.56	44.55	64.42	51.30	#NUM!
		20	53.90	59.09	54.77	43.56	72.66	53.92	#NUM!
		21	57.45	66.38	57.98	41.79	81.94	56.46	#NUM!
		22	61.00	74.58	61.19	39.27	92.41	58.95	#NUM!
		23	64.54	83.79	64.39	35.98	104.22	61.37	#NUM!
		24	68.09	94.14	67.60	31.92	117.54	63.75	#NUM!
		25	71.63	105.77	70.81	27.10	132.56	66.08	#NUM!
		26	75.18	118.83	74.02	21.51	149.50	68.36	#NUM!
		27	78.73	133.50	77.22	15.16	168.60	70.61	#NUM!
		28	82.27	149.99	80.43	8.05	190.15	72.83	#NUM!
		29	85.82	168.51	83.64	0.17	214.45	75.00	#NUM!
		30	89.37	189.32	86.85	-8.47	241.85	77.15	#NUM!
		31	92.91	212.70	90.05	-17.88	272.76	79.27	#NUM!
		32	96.46	238.97	93.26	-28.05	307.61	81.36	#NUM!
		33	100.00	268.49	96.47	-38.99	346.92	83.43	#NUM!
採用推計式							採用式		

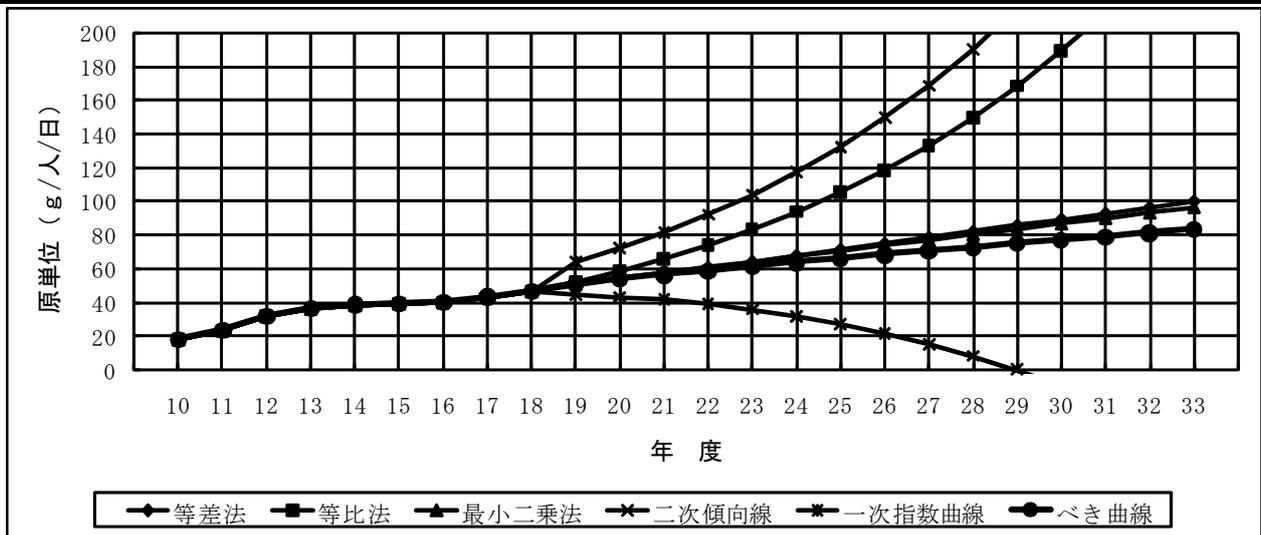


図 2 - 5 7 法の推計方法における資源ごみ（新聞紙）の原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等 差 法	等 比 法	最小二乘法	二次傾向線	一次指数曲線	べき 曲 線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.628715	0.579404	0.628515	0.974246	0.586137	0.803028	#NUM!	
実 績	平成	10	21.21	21.21	21.21	21.21	21.21	21.21	21.21
		11	25.93	25.93	25.93	25.93	25.93	25.93	25.93
		12	32.91	32.91	32.91	32.91	32.91	32.91	32.91
		13	37.39	37.39	37.39	37.39	37.39	37.39	37.39
		14	40.67	40.67	40.67	40.67	40.67	40.67	40.67
		15	37.40	37.40	37.40	37.40	37.40	37.40	37.40
		16	37.26	37.26	37.26	37.26	37.26	37.26	37.26
		17	35.02	35.02	35.02	35.02	35.02	35.02	35.02
予 測		18	33.54	33.54	33.54	33.54	33.54	33.54	33.54
		19	35.08	35.52	40.59	26.97	42.17	40.24	#NUM!
		20	36.62	37.61	42.01	20.22	44.32	41.15	#NUM!
		21	38.16	39.83	43.43	11.98	46.58	42.02	#NUM!
		22	39.71	42.18	44.85	2.26	48.96	42.84	#NUM!
		23	41.25	44.66	46.28	-8.95	51.45	43.62	#NUM!
		24	42.79	47.30	47.70	-21.65	54.08	44.38	#NUM!
		25	44.33	50.08	49.12	-35.83	56.83	45.10	#NUM!
		26	45.87	53.04	50.54	-51.50	59.73	45.80	#NUM!
		27	47.41	56.16	51.96	-68.65	62.77	46.47	#NUM!
		28	48.95	59.48	53.38	-87.29	65.97	47.12	#NUM!
		29	50.49	62.98	54.81	-107.42	69.34	47.75	#NUM!
		30	52.04	66.70	56.23	-129.03	72.87	48.36	#NUM!
		31	53.58	70.63	57.65	-152.13	76.59	48.96	#NUM!
		32	55.12	74.79	59.07	-176.71	80.49	49.54	#NUM!
		33	56.66	79.20	60.49	-202.78	84.59	50.11	#NUM!
採用推計式							採用式		

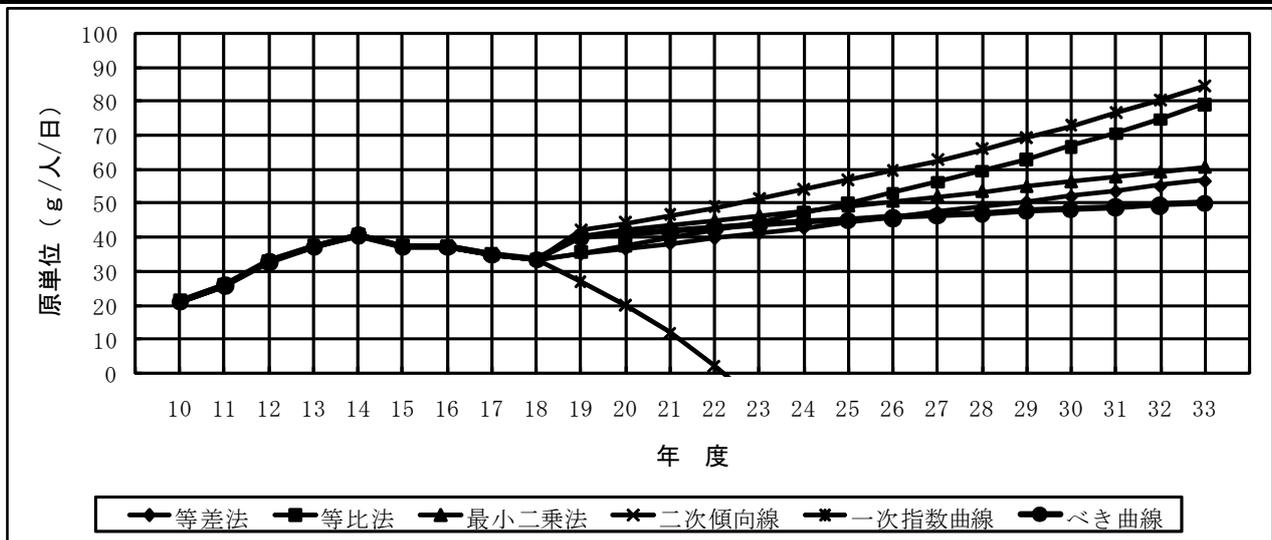


図 2 - 6 7 法の推計方法における資源ごみ(雑誌類)の原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等 差 法	等 比 法	最小二乘法	二次傾向線	一次指数曲線	べき 曲 線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.532571	0.534811	0.532544	0.533100	0.533778	0.589354	#NUM!	
実 績	平成	10	2.19	2.19	2.19	2.19	2.19	2.19	
		11	3.85	3.85	3.85	3.85	3.85	3.85	
		12	16.85	16.85	16.85	16.85	16.85	16.85	
		13	20.35	20.35	20.35	20.35	20.35	20.35	
		14	21.46	21.46	21.46	21.46	21.46	21.46	
		15	21.86	21.86	21.86	21.86	21.86	21.86	
		16	18.41	18.41	18.41	18.41	18.41	18.41	
		17	18.97	18.97	18.97	18.97	18.97	18.97	
予 測		18	24.85	24.85	24.85	24.85	24.85	24.85	
		19	26.18	26.51	22.99	23.20	22.94	20.40	#NUM!
		20	27.52	28.29	23.64	24.00	23.66	20.40	#NUM!
		21	28.85	30.18	24.29	24.84	24.41	20.39	#NUM!
		22	30.18	32.20	24.94	25.72	25.18	20.39	#NUM!
		23	31.52	34.35	25.59	26.63	25.98	20.38	#NUM!
		24	32.85	36.65	26.24	27.57	26.80	20.38	#NUM!
		25	34.18	39.10	26.89	28.55	27.65	20.38	#NUM!
		26	35.52	41.72	27.54	29.56	28.52	20.37	#NUM!
		27	36.85	44.51	28.19	30.61	29.42	20.37	#NUM!
		28	38.18	47.48	28.84	31.69	30.35	20.37	#NUM!
		29	39.52	50.66	29.49	32.80	31.31	20.36	#NUM!
		30	40.85	54.05	30.14	33.95	32.30	20.36	#NUM!
		31	42.18	57.66	30.79	35.14	33.32	20.36	#NUM!
		32	43.52	61.52	31.44	36.36	34.38	20.36	#NUM!
		33	44.85	65.64	32.09	37.61	35.47	20.35	#NUM!
採用推計式						採用式			

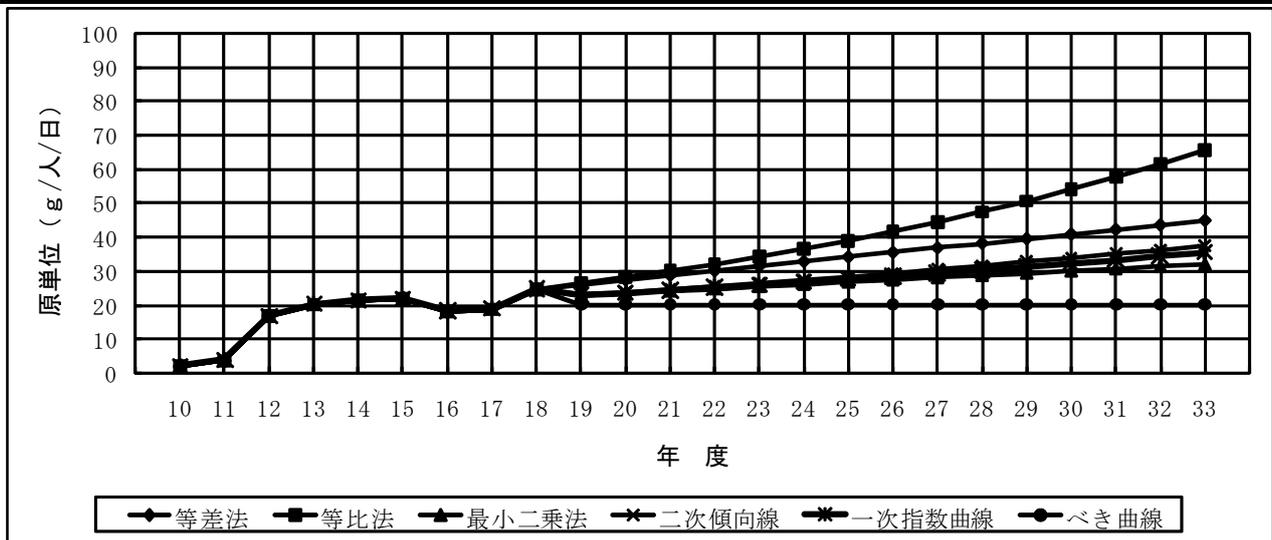


図 2 - 7 7 法の推計方法における資源ごみ(ダンボール)の
原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等 差 法	等 比 法	最小二乘法	二次傾向線	一次指数曲線	べき 曲 線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.777548	0.809672	0.776440	0.902668	0.807511	#NUM!	#NUM!	
実 績	平成	11	1.87	1.87	1.87	1.87	1.87	1.87	1.87
		12	5.06	5.06	5.06	5.06	5.06	5.06	5.06
		13	4.18	4.18	4.18	4.18	4.18	4.18	4.18
		14	5.92	5.92	5.92	5.92	5.92	5.92	5.92
		15	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81
		16	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44
		17	6.34	6.34	6.34	6.34	6.34	6.34	6.34
		18	8.50	8.50	8.50	8.50	8.50	8.50	8.50
予 測	昭和	19	9.07	9.27	7.77	9.84	7.81	#NUM!	#NUM!
		20	9.65	10.10	8.28	11.90	8.48	#NUM!	#NUM!
		21	10.22	11.02	8.78	14.30	9.21	#NUM!	#NUM!
		22	10.79	12.01	9.29	17.05	10.00	#NUM!	#NUM!
		23	11.37	13.10	9.80	20.14	10.85	#NUM!	#NUM!
		24	11.94	14.28	10.30	23.57	11.78	#NUM!	#NUM!
		25	12.51	15.57	10.81	27.36	12.79	#NUM!	#NUM!
		26	13.09	16.97	11.31	31.48	13.89	#NUM!	#NUM!
		27	13.66	18.51	11.82	35.95	15.08	#NUM!	#NUM!
		28	14.23	20.18	12.32	40.77	16.38	#NUM!	#NUM!
		29	14.81	22.00	12.83	45.93	17.78	#NUM!	#NUM!
		30	15.38	23.99	13.34	51.43	19.31	#NUM!	#NUM!
		31	15.95	26.15	13.84	57.28	20.97	#NUM!	#NUM!
		32	16.53	28.51	14.35	63.48	22.76	#NUM!	#NUM!
		33	17.10	31.09	14.85	70.01	24.72	#NUM!	#NUM!
採用推計式		採用式							

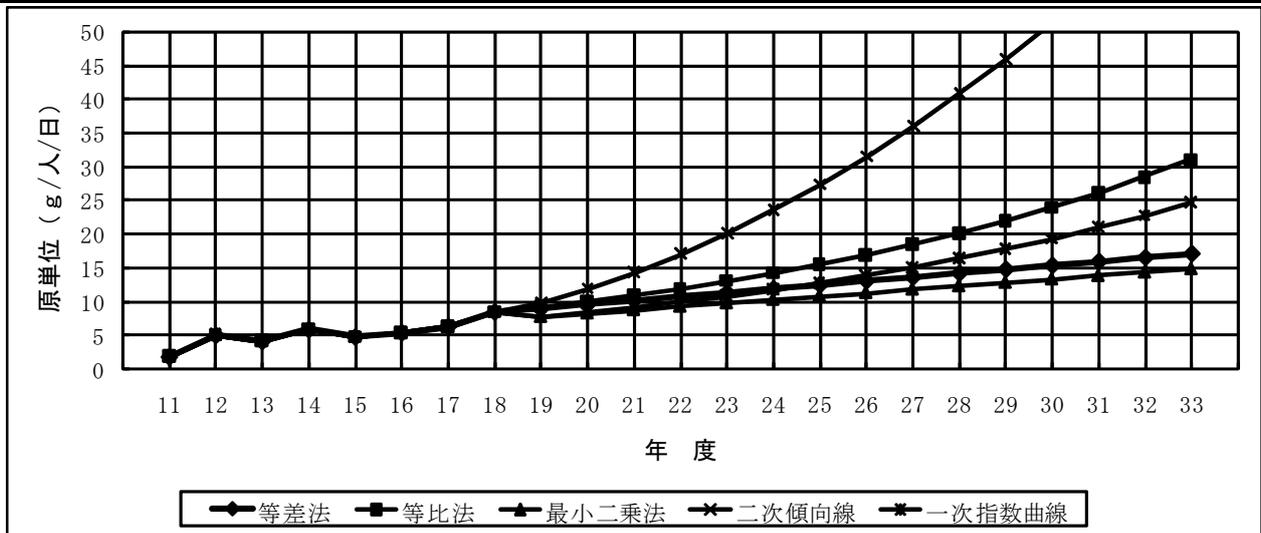


図 2 - 8 7 法の推計方法における資源ごみ(ペットボトル)の
原単位実績と将来予測

2. 収集ごみ排出量の予測

予測した人口及び種類別の原単位から収集ごみの排出量を算出します。
次に収集ごみの排出量の算出式を示します。

$$\begin{aligned} & \text{収集ごみの排出量 (t/日)} \\ & = \text{予測原単位 (g/人/日)} \div 100,000 \text{ (g/t)} \times \text{予測人口} \end{aligned}$$

本市における収集ごみ排出量の実績とその見込みを表 2 - 3 に示します。

表 2-3 収集ごみ排出量の実績とその見込み

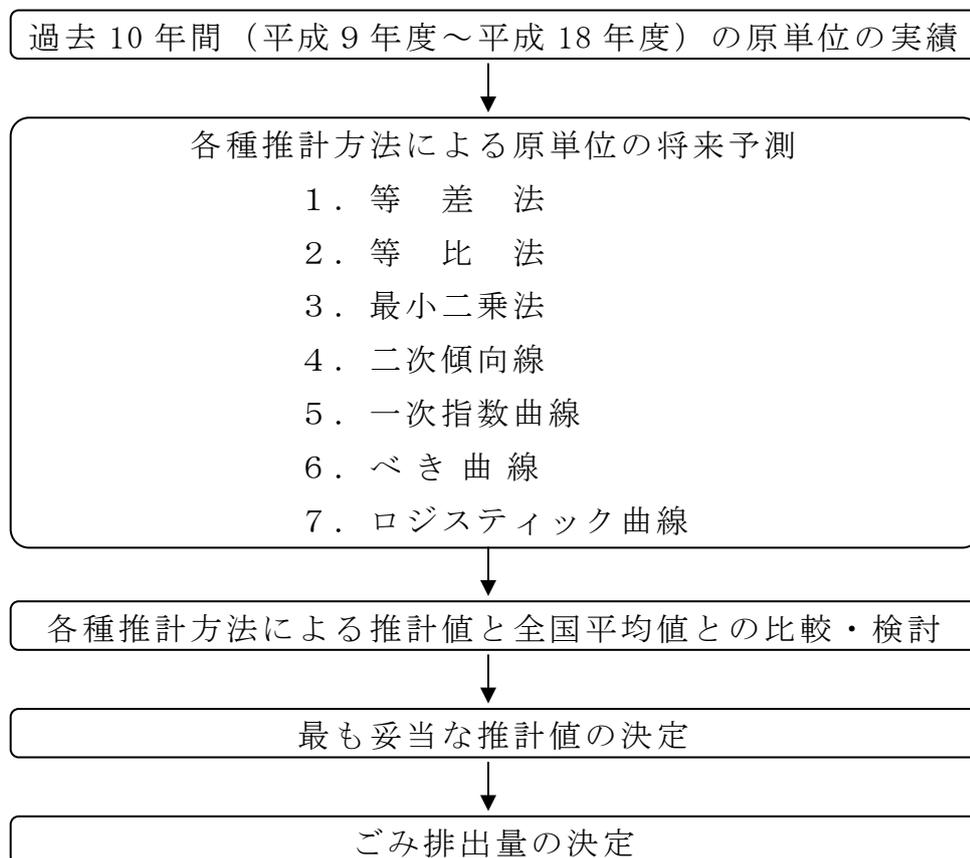
単位：t/日

	燃え る ご み		燃 え な い ご み		資 源 ざ ゝ み				有 害 ざ ゝ み	合 計
	家 庭 系	事 業 系	家 庭 系	事 業 系	新 聞 紙	雑 誌 類	タ ン ホ ー ル	ハ ッ ト ホ ー ル		
平成9年度	45.59	8.83	6.55	0.53	—	—	—	—	—	61.50
平成10年度	41.59	10.86	6.22	0.67	1.12	1.29	0.13	—	—	61.88
平成11年度	38.58	11.65	5.73	0.96	1.42	1.56	0.23	0.11	—	60.24
平成12年度	36.22	12.80	5.41	1.02	1.93	1.98	1.01	0.30	0.028	60.70
平成13年度	36.18	13.14	4.68	1.11	2.18	2.23	1.22	0.25	0.079	61.07
平成14年度	35.70	13.64	4.60	1.15	2.32	2.42	1.27	0.35	0.085	61.54
平成15年度	36.13	14.08	4.55	1.19	2.34	2.21	1.29	0.28	0.078	62.15
平成16年度	35.72	15.76	4.18	1.12	2.36	2.19	1.08	0.32	0.076	62.81
平成17年度	36.93	16.81	4.19	1.12	2.53	2.04	1.10	0.37	0.072	65.16
平成18年度	36.99	14.68	3.58	0.82	2.70	1.93	1.43	0.49	0.062	62.68
平成19年度	36.90	15.05	3.36	1.19	2.95	2.32	1.32	0.52	0.074	63.68
平成20年度	37.07	15.36	3.14	1.22	3.09	2.36	1.35	0.55	0.073	64.21
平成21年度	37.23	15.66	2.93	1.24	3.21	2.39	1.39	0.58	0.073	64.70
平成22年度	37.39	15.95	2.74	1.26	3.33	2.42	1.42	0.61	0.072	65.19
平成23年度	37.55	16.25	2.56	1.28	3.45	2.45	1.46	0.64	0.072	65.71
平成24年度	37.71	16.53	2.40	1.30	3.56	2.48	1.50	0.67	0.072	66.22
平成25年度	37.87	16.81	2.24	1.32	3.67	2.51	1.54	0.69	0.071	66.72
平成26年度	38.03	17.09	2.09	1.34	3.77	2.53	1.57	0.72	0.071	67.21
平成27年度	38.18	17.36	1.96	1.36	3.87	2.55	1.61	0.75	0.070	67.71
平成28年度	38.34	17.63	1.83	1.37	3.97	2.57	1.65	0.78	0.070	68.21
平成29年度	38.50	17.89	1.71	1.39	4.06	2.59	1.70	0.80	0.069	68.71
平成30年度	38.65	18.15	1.60	1.40	4.15	2.60	1.74	0.83	0.069	69.19
平成31年度	38.81	18.40	1.49	1.41	4.24	2.62	1.78	0.85	0.068	69.67
平成32年度	38.96	18.65	1.39	1.43	4.33	2.63	1.83	0.88	0.068	70.17
平成33年度	39.11	18.89	1.30	1.44	4.41	2.65	1.87	0.90	0.068	70.64

資料 3 直接搬入ごみ排出量の予測（本編 P37～43 参照）

1. 一人一日排出量の予測

将来の原単位の予測に関しては、以下の方法により比較・検討し最も妥当な推計値を決定します。



ごみ排出量の将来予測にあたっては、平成 9 年度から平成 18 年度までの種類別の原単位をもとに、厚生省監修のごみ処理施設構造指針解説による 7 法の推計方法を用いて、実績のトレンドと将来のトレンドが無理のない線を描くように留意します。

本市における直接搬入ごみの種類別原単位の推計値に関する採用理由は次に示すとおりです。

【燃えるごみ：家庭系】

家庭系にて直接搬入される燃えるごみの原単位は、緩やかな増加傾向にて推移しています。将来の家庭系にて直接搬入される燃えるごみの原単位も緩やかな増加傾向にて推移していくものと考えられますので、緩やかな増加傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も1に近い「最小二乗法」による推計値を将来の家庭系にて直接搬入される燃えるごみの原単位として採用します。

【燃えるごみ：事業系】

事業系にて直接搬入される燃えるごみの原単位は、緩やかな増加傾向にて推移しています。将来の事業系にて直接搬入される燃えるごみの原単位も緩やかな増加傾向にて推移していくものと考えられますので、緩やかな増加傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も1に近い「最小二乗法」による推計値を将来の事業系にて直接搬入される燃えるごみの原単位として採用します。

【燃えないごみ：家庭系】

家庭系にて直接搬入される燃えないごみの原単位は、僅かながら増加傾向にて推移しています。将来の家庭系にて直接搬入される燃えないごみの原単位も現状と同様な傾向にて推移していくものと考えられますので、原単位の変動が少なく、相関係数が最も1に近い「最小二乗法」による推計値を将来の家庭系にて直接搬入される燃えないごみの原単位として採用します。

【燃えないごみ：事業系】

事業系にて直接搬入される燃えないごみの原単位は、僅かながら減少傾向にて推移しています。将来の事業系にて直接搬入される燃えないごみの原単位も現状と同様な傾向にて推移していくものと考えられますので、原単位の変動が少なく、相関係数が最も1に近い「等比法」による推計値を将来の事業系にて直接搬入される燃えないごみの原単位として採用します。

以上の結果より、表3-1に直接搬入ごみの原単位実績とその見込みを、図3-1～4に7法の推計方式におけるごみの種類別原単位実績と将来予測の結果を示します。

表 3 - 1 直接搬入ごみの原単位実績とその見込み

単位：g/人/年

		燃えるごみ		燃えないごみ		合計
		家庭系	事業系	家庭系	事業系	
実 績	平成9年度	0.42	23.43	0.13	1.89	25.87
	平成10年度	1.55	23.71	0.25	1.77	27.28
	平成11年度	2.23	22.52	0.30	1.54	26.59
	平成12年度	2.76	29.87	0.53	2.40	35.56
	平成13年度	2.64	29.84	0.32	0.96	33.76
	平成14年度	3.83	35.49	0.53	0.81	40.66
	平成15年度	6.37	38.16	0.30	0.86	45.69
	平成16年度	9.62	38.61	0.39	0.65	49.27
	平成17年度	10.72	58.10	0.70	0.86	70.38
	平成18年度	19.10	59.50	0.98	0.64	80.22
予 測	平成19年度	18.00	62.59	0.80	0.57	81.96
	平成20年度	20.54	67.89	0.87	0.50	89.80
	平成21年度	23.07	73.19	0.93	0.45	97.64
	平成22年度	25.61	78.50	1.00	0.40	105.51
	平成23年度	28.14	83.80	1.06	0.35	113.35
	平成24年度	30.67	89.11	1.13	0.31	121.22
	平成25年度	33.21	94.41	1.19	0.28	129.09
	平成26年度	35.74	99.72	1.26	0.24	136.96
	平成27年度	38.28	105.02	1.32	0.22	144.84
	平成28年度	40.81	110.33	1.39	0.19	152.72
	平成29年度	43.35	115.63	1.45	0.17	160.60
	平成30年度	45.88	120.94	1.52	0.15	168.49
	平成31年度	48.42	126.24	1.59	0.13	176.38
	平成32年度	50.95	131.55	1.65	0.12	184.27
	平成33年度	53.49	136.85	1.72	0.11	192.17
	採用推計式	最小二乗法	最小二乗法	最小二乗法	等比法	

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等差法	等比法	最小二乗法	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.926947	0.983085	0.927091	0.983262	0.984262	#NUM!	#NUM!	
実績	平成	9	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	
		10	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	
		11	2.23	2.23	2.23	2.23	2.23	2.23	
		12	2.76	2.76	2.76	2.76	2.76	2.76	
		13	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64	
		14	3.83	3.83	3.83	3.83	3.83	3.83	
		15	6.37	6.37	6.37	6.37	6.37	6.37	
		16	9.62	9.62	9.62	9.62	9.62	9.62	
		17	10.72	10.72	10.72	10.72	10.72	10.72	
予測		19	21.82	26.37	18.00	24.21	24.16	#NUM!	#NUM!
		20	24.55	36.40	20.54	31.40	33.95	#NUM!	#NUM!
		21	27.27	50.25	23.07	39.63	47.71	#NUM!	#NUM!
		22	29.99	69.36	25.61	48.89	67.05	#NUM!	#NUM!
		23	32.72	95.75	28.14	59.19	94.23	#NUM!	#NUM!
		24	35.44	132.18	30.67	70.52	132.42	#NUM!	#NUM!
		25	38.16	182.46	33.21	82.89	186.09	#NUM!	#NUM!
		26	40.89	251.88	35.74	96.29	261.51	#NUM!	#NUM!
		27	43.61	347.71	38.28	110.73	367.51	#NUM!	#NUM!
		28	46.33	480.00	40.81	126.20	516.46	#NUM!	#NUM!
		29	49.06	662.61	43.35	142.71	725.77	#NUM!	#NUM!
		30	51.78	914.71	45.88	160.25	1,019.93	#NUM!	#NUM!
		31	54.50	1,262.71	48.42	178.83	1,433.31	#NUM!	#NUM!
		32	57.23	1,743.10	50.95	198.44	2,014.23	#NUM!	#NUM!
		33	59.95	2,406.27	53.49	219.09	2,830.59	#NUM!	#NUM!
	採用推計式				採用式				

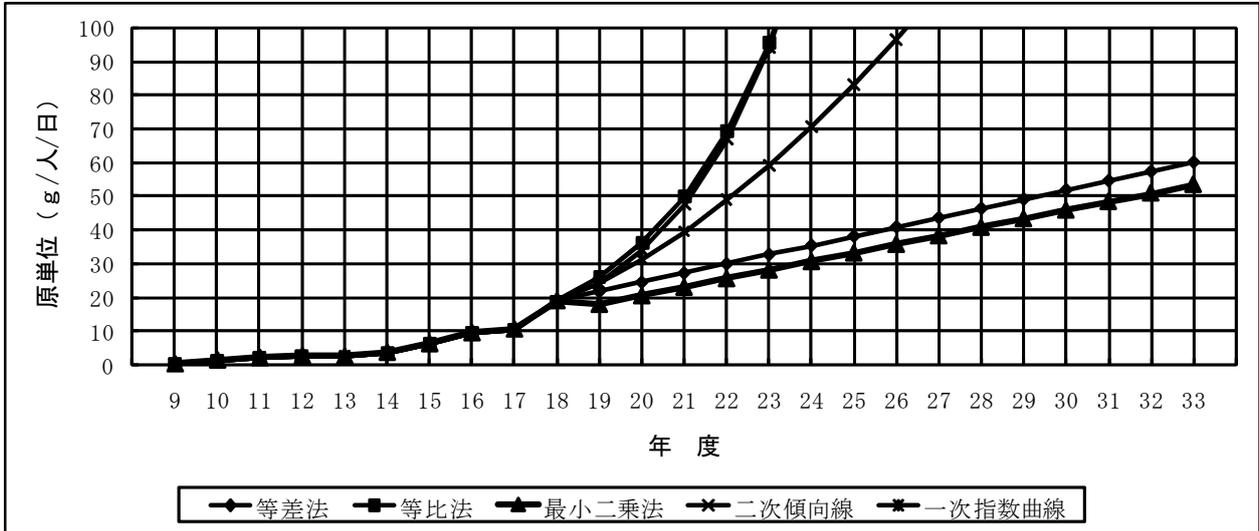


図 3 - 1 7 法の推計方法における燃えるごみ(家庭系)の原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等差法	等比法	最小二乗法	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.922281	0.942948	0.922296	0.957674	0.944293	#NUM!	#NUM!	
実績	平成	9	23.43	23.43	23.43	23.43	23.43	23.43	
		10	23.71	23.71	23.71	23.71	23.71	23.71	
		11	22.52	22.52	22.52	22.52	22.52	22.52	
		12	29.87	29.87	29.87	29.87	29.87	29.87	
		13	29.84	29.84	29.84	29.84	29.84	29.84	
		14	35.49	35.49	35.49	35.49	35.49	35.49	
		15	38.16	38.16	38.16	38.16	38.16	38.16	
		16	38.61	38.61	38.61	38.61	38.61	38.61	
		17	58.10	58.10	58.10	58.10	58.10	58.10	
予測	令和	19	64.44	66.74	62.59	72.86	65.64	#NUM!	#NUM!
		20	69.38	74.86	67.89	85.87	74.34	#NUM!	#NUM!
		21	74.32	83.98	73.19	100.59	84.19	#NUM!	#NUM!
		22	79.25	94.20	78.50	117.02	95.35	#NUM!	#NUM!
		23	84.19	105.66	83.80	135.17	107.98	#NUM!	#NUM!
		24	89.13	118.52	89.11	155.03	122.29	#NUM!	#NUM!
		25	94.07	132.95	94.41	176.60	138.50	#NUM!	#NUM!
		26	99.01	149.13	99.72	199.88	156.85	#NUM!	#NUM!
		27	103.95	167.28	105.02	224.87	177.64	#NUM!	#NUM!
		28	108.88	187.64	110.33	251.58	201.18	#NUM!	#NUM!
		29	113.82	210.47	115.63	280.00	227.83	#NUM!	#NUM!
		30	118.76	236.09	120.94	310.13	258.02	#NUM!	#NUM!
		31	123.70	264.83	126.24	341.97	292.21	#NUM!	#NUM!
		32	128.64	297.06	131.55	375.53	330.94	#NUM!	#NUM!
		33	133.58	333.21	136.85	410.79	374.79	#NUM!	#NUM!
		採用推計式				採用式			

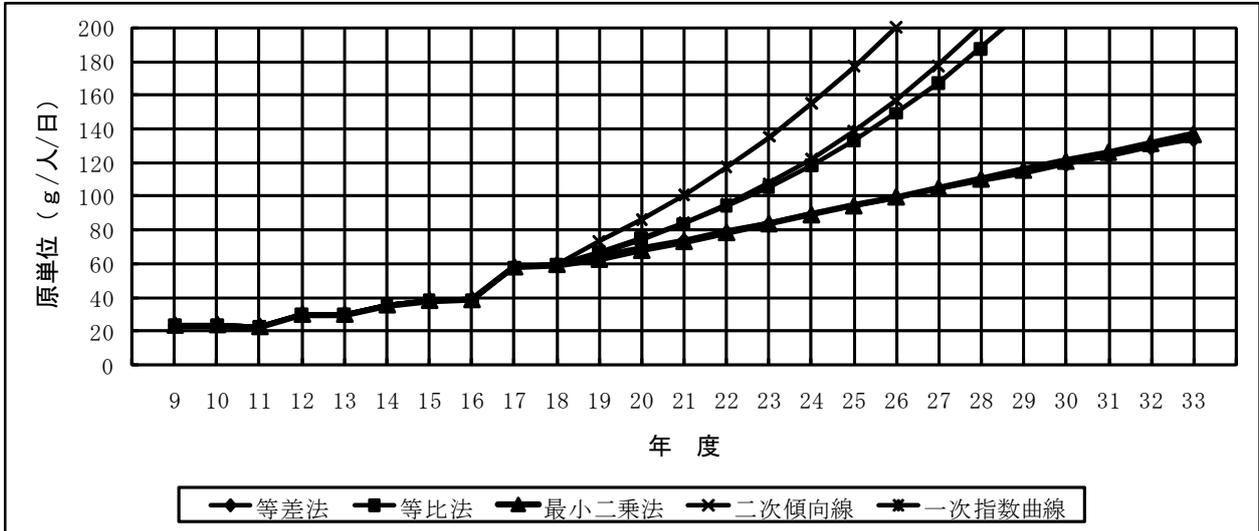


図 3 - 2 7 法の推計方法における燃えるごみ(事業系)の原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等差法	等比法	最小二乗法	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	
相関係数		0.787348	0.839585	0.792211	0.822650	0.827231	0.765218	0.827231	
実績	平成	9	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
		10	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
		11	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		12	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53
		13	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32
		14	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53
		15	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		16	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
		17	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
予測	平成	18	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98
		19	1.07	1.23	0.80	0.97	0.90	0.63	0.90
		20	1.17	1.54	0.87	1.12	1.05	0.66	1.05
		21	1.26	1.92	0.93	1.29	1.22	0.70	1.22
		22	1.36	2.41	1.00	1.48	1.43	0.72	1.43
		23	1.45	3.01	1.06	1.68	1.67	0.75	1.67
		24	1.55	3.77	1.13	1.89	1.95	0.78	1.94
		25	1.64	4.72	1.19	2.12	2.27	0.81	2.27
		26	1.74	5.90	1.26	2.37	2.65	0.84	2.65
		27	1.83	7.39	1.32	2.63	3.10	0.86	3.09
		28	1.92	9.25	1.39	2.90	3.61	0.89	3.60
		29	2.02	11.57	1.45	3.19	4.22	0.91	4.20
		30	2.11	14.49	1.52	3.50	4.92	0.94	4.89
		31	2.21	18.13	1.59	3.82	5.74	0.96	5.70
		32	2.30	22.69	1.65	4.16	6.70	0.99	6.65
		33	2.40	28.40	1.72	4.51	7.82	1.01	7.75
採用推計式				採用式					

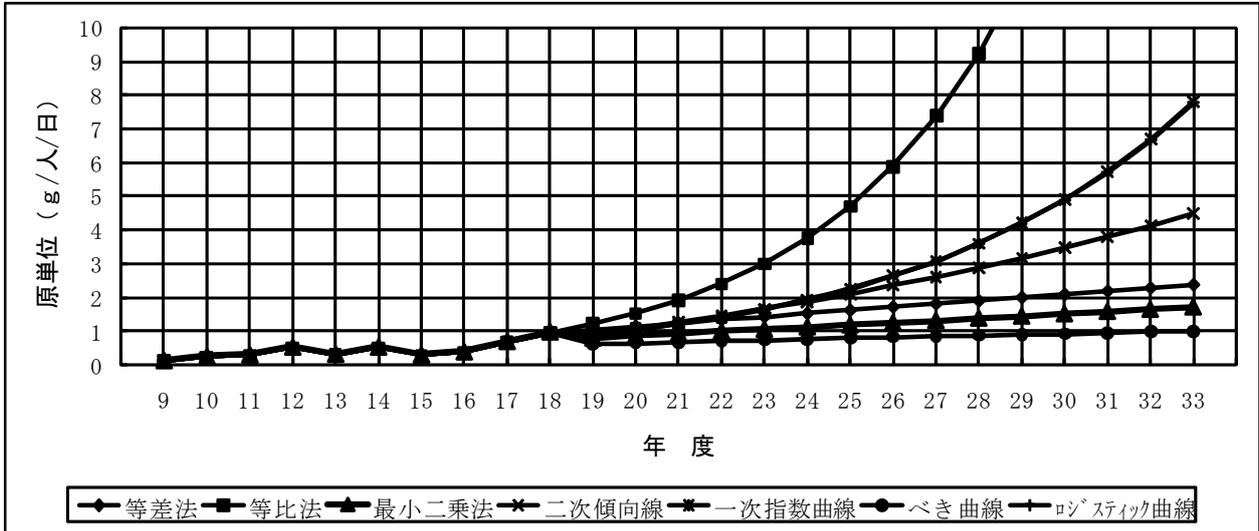


図 3-3 7法の推計方法における燃えないごみ(家庭系)の原単位実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
		等 差 法	等 比 法	最小二乗法	二次傾向線	一次指数曲線	ベ き 曲 線	ロジ スティック曲線	
相関係数		0.799915	0.798866	0.800900	0.804550	0.798799	#NUM!	0.798799	
実 績	平成	9	1.89	1.89	1.89	1.89	1.89	1.89	
		10	1.77	1.77	1.77	1.77	1.77	1.77	
		11	1.54	1.54	1.54	1.54	1.54	1.54	
		12	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	
		13	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96	
		14	0.81	0.81	0.81	0.81	0.81	0.81	
		15	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	
		16	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	
		17	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	
予 測		18	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	
		19	0.50	0.57	0.34	0.46	0.53	#NUM!	0.53
		20	0.36	0.50	0.18	0.36	0.46	#NUM!	0.46
		21	0.22	0.45	0.02	0.27	0.40	#NUM!	0.40
		22	0.08	0.40	-0.14	0.19	0.35	#NUM!	0.35
		23	-0.05	0.35	-0.31	0.12	0.31	#NUM!	0.31
		24	-0.19	0.31	-0.47	0.07	0.27	#NUM!	0.27
		25	-0.33	0.28	-0.63	0.02	0.23	#NUM!	0.23
		26	-0.47	0.24	-0.80	-0.02	0.20	#NUM!	0.20
		27	-0.61	0.22	-0.96	-0.04	0.18	#NUM!	0.18
		28	-0.75	0.19	-1.12	-0.06	0.16	#NUM!	0.16
		29	-0.89	0.17	-1.28	-0.06	0.14	#NUM!	0.14
		30	-1.03	0.15	-1.45	-0.06	0.12	#NUM!	0.12
		31	-1.17	0.13	-1.61	-0.04	0.10	#NUM!	0.10
		32	-1.30	0.12	-1.77	-0.01	0.09	#NUM!	0.09
		33	-1.44	0.11	-1.93	0.02	0.08	#NUM!	0.08
採用推計式			採 用 式						

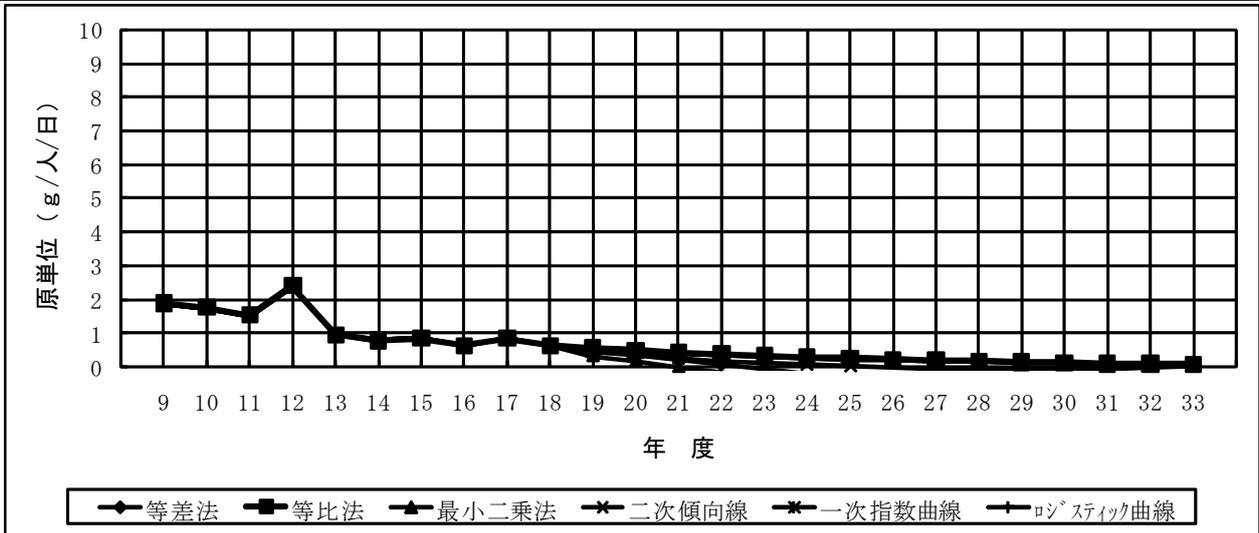


図 3-4 7法の推計方法における燃えないごみ(事業系)の原単位実績と将来予測

2. 直接搬入ごみ排出量の予測

予測した人口及び種類別の原単位から直接搬入ごみの排出量を算出します。次に直接搬入ごみの排出量の算出式を示します。

直接搬入ごみの排出量（t/日）

= 予測原単位（g/人/日） ÷ 100,000（g/t） × 予測人口

本市における直接搬入ごみ排出量の実績とその見込みを表3-2に示します。

表3-2 直接搬入ごみ排出量の実績とその見込み

単位：t/日

		燃えるごみ		燃えないごみ		合計
		家庭系	事業系	家庭系	事業系	
実績	平成9年度	0.03	1.42	0.01	0.11	1.57
	平成10年度	0.09	1.44	0.02	0.11	1.66
	平成11年度	0.14	1.37	0.02	0.09	1.62
	平成12年度	0.17	1.82	0.03	0.15	2.17
	平成13年度	0.16	1.81	0.02	0.06	2.05
	平成14年度	0.23	2.16	0.03	0.05	2.47
	平成15年度	0.39	2.32	0.02	0.05	2.78
	平成16年度	0.58	2.35	0.02	0.04	2.99
	平成17年度	0.65	3.53	0.04	0.05	4.27
	平成18年度	1.16	3.62	0.06	0.04	4.88
予測	平成19年度	1.09	3.80	0.05	0.03	4.97
	平成20年度	1.25	4.13	0.05	0.03	5.46
	平成21年度	1.40	4.45	0.06	0.03	5.94
	平成22年度	1.56	4.77	0.06	0.02	6.41
	平成23年度	1.71	5.09	0.06	0.02	6.88
	平成24年度	1.86	5.42	0.07	0.02	7.37
	平成25年度	2.02	5.74	0.07	0.02	7.85
	平成26年度	2.17	6.06	0.08	0.01	8.32
	平成27年度	2.33	6.38	0.08	0.01	8.80
	平成28年度	2.48	6.71	0.08	0.01	9.28
	平成29年度	2.64	7.03	0.09	0.01	9.77
	平成30年度	2.79	7.35	0.09	0.01	10.24
	平成31年度	2.94	7.67	0.10	0.01	10.72
	平成32年度	3.10	8.00	0.10	0.01	11.21
	平成33年度	3.25	8.32	0.10	0.01	11.68

資料4 ごみ減量効果を考慮したごみ排出量の予測（本編 P51～53）

本市のごみの排出量は、平成 18 年度実績で 23 千 t、平成 33 年度には 30 千 t のごみが排出される見込みとなります。また、市民一人ひとりが 1 日で排出するごみの量としては平成 18 年度実績で 1,087 g、平成 33 年度には 1,560 g へ増加すると見込まれています。平成 17 年度における 1 人 1 日当たりのごみの排出量の全国平均値が 1,069 g で微減傾向にあることより、増加傾向にある本市はごみの減量化施策に取り組む必要があります。

自然環境に恵まれた本市をよりきれいで住みやすく、また、「水と緑を未来に紡ぐ 人と地球にやさしいまち 泉都ごせん」を目指すためにも、平成 33 年度において予測された市民一人ひとりが 1 日に排出するごみの量に対しての減量化目標を次のとおりに設定します。

【燃えるごみの減量化目標】

収集される燃えるごみ（家庭系）：10%

収集される燃えるごみ（事業系）：50%

直接搬入される燃えるごみ（家庭系）：50%

直接搬入される燃えるごみ（事業系）：50%

【燃えないごみの減量化目標】

収集される燃えないごみ（家庭系）：5%

収集される燃えないごみ（事業系）：30%

直接搬入される燃えないごみ（家庭系）：5%

直接搬入される燃えないごみ（事業系）：5%

【資源ごみの減量化目標】

新聞紙：0%

雑誌類、ダンボール、ペットボトル：各5%

【有害ごみの減量化目標】：0%

この減量目標を考慮したごみ排出量の予測は次のとおりです。

本市における収集ごみ排出量の見込みを表4-1に、平成33年度までの年度別減量化達成目標を表4-2に示します。また、直接搬入ごみ排出量の見込みを表4-3に、平成33年度までの年度別減量化達成目標を表4-4に示します。

予測された収集及び直接搬入ごみの排出量から減量化達成目標より算出された排出量を引くことにより、ごみ減量効果を考慮した収集及び直接搬入ごみの排出量の見込みを算出し、その結果を表4-5～6に示します。なお、算出式は次のとおりとします。

$$\begin{aligned} & \text{ごみ減量効果を考慮したごみ排出量 (t/日)} \\ & = \text{予測された収集及び直接搬入ごみの排出量 (t/日)} \\ & \quad \times (1 - \text{年度別減量化達成目標値}) \end{aligned}$$

表4-1 収集ごみ排出量の見込み

単位：t/日

	燃えるごみ		燃えないごみ		資源ごみ				有害ごみ	合計
	家庭系	事業系	家庭系	事業系	新聞紙	雑誌類	ダンボール	ペットボトル		
平成19年度	36.90	15.05	3.36	1.19	2.95	2.32	1.32	0.52	0.074	63.68
平成20年度	37.07	15.36	3.14	1.22	3.09	2.36	1.35	0.55	0.073	64.21
平成21年度	37.23	15.66	2.93	1.24	3.21	2.39	1.39	0.58	0.073	64.70
平成22年度	37.39	15.95	2.74	1.26	3.33	2.42	1.42	0.61	0.072	65.19
平成23年度	37.55	16.25	2.56	1.28	3.45	2.45	1.46	0.64	0.072	65.71
平成24年度	37.71	16.53	2.40	1.30	3.56	2.48	1.50	0.67	0.072	66.22
平成25年度	37.87	16.81	2.24	1.32	3.67	2.51	1.54	0.69	0.071	66.72
平成26年度	38.03	17.09	2.09	1.34	3.77	2.53	1.57	0.72	0.071	67.21
平成27年度	38.18	17.36	1.96	1.36	3.87	2.55	1.61	0.75	0.070	67.71
平成28年度	38.34	17.63	1.83	1.37	3.97	2.57	1.65	0.78	0.070	68.21
平成29年度	38.50	17.89	1.71	1.39	4.06	2.59	1.70	0.80	0.069	68.71
平成30年度	38.65	18.15	1.60	1.40	4.15	2.60	1.74	0.83	0.069	69.19
平成31年度	38.81	18.40	1.49	1.41	4.24	2.62	1.78	0.85	0.068	69.67
平成32年度	38.96	18.65	1.39	1.43	4.33	2.63	1.83	0.88	0.068	70.17
平成33年度	39.11	18.89	1.30	1.44	4.41	2.65	1.87	0.90	0.068	70.64
予 測										

表 4-2 収集ごみ排出量における年度別減量化目標

年度別減量化目標	燃えるごみ		燃えなごみ		資源ごみ					有害ごみ
	燃え系		燃え系		事業系	新聞紙	雑誌類	タンスホール	ハットホトル	
	家庭系	事業系	家庭系	事業系						
平成19年度	1.0%	5.0%	0.5%	3.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%	
平成20年度	1.0%	5.0%	0.5%	4.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%	
平成21年度	2.0%	10.0%	1.0%	6.0%	0.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	
平成22年度	3.0%	15.0%	1.5%	9.0%	0.0%	1.5%	1.5%	1.5%	0.0%	
平成23年度	4.0%	20.0%	2.0%	12.0%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	
平成24年度	5.0%	25.0%	2.5%	15.0%	0.0%	2.5%	2.5%	2.5%	0.0%	
平成25年度	6.0%	30.0%	3.0%	18.0%	0.0%	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	
平成26年度	7.0%	35.0%	3.5%	21.0%	0.0%	3.5%	3.5%	3.5%	0.0%	
平成27年度	7.5%	37.0%	3.5%	22.0%	0.0%	3.7%	3.5%	3.5%	0.0%	
平成28年度	8.0%	40.0%	4.0%	24.0%	0.0%	4.0%	4.0%	4.0%	0.0%	
平成29年度	8.5%	42.0%	4.0%	25.0%	0.0%	4.2%	4.0%	4.0%	0.0%	
平成30年度	9.0%	45.0%	4.5%	27.0%	0.0%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	
平成31年度	9.3%	47.0%	4.5%	28.0%	0.0%	4.7%	4.5%	4.5%	0.0%	
平成32年度	9.7%	48.0%	5.0%	29.0%	0.0%	4.8%	5.0%	5.0%	0.0%	
平成33年度	10.0%	50.0%	5.0%	30.0%	0.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	
H33に対する減量化率	10.0%	50.0%	5.0%	30.0%	0.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	

表 4 - 3 直接搬入ごみ排出量の見込み

単位：t/日

		燃えるごみ		燃えないごみ		合計
		家庭系	事業系	家庭系	事業系	
予 測	平成19年度	1.09	3.80	0.05	0.03	4.97
	平成20年度	1.25	4.13	0.05	0.03	5.46
	平成21年度	1.40	4.45	0.06	0.03	5.94
	平成22年度	1.56	4.77	0.06	0.02	6.41
	平成23年度	1.71	5.09	0.06	0.02	6.88
	平成24年度	1.86	5.42	0.07	0.02	7.37
	平成25年度	2.02	5.74	0.07	0.02	7.85
	平成26年度	2.17	6.06	0.08	0.01	8.32
	平成27年度	2.33	6.38	0.08	0.01	8.80
	平成28年度	2.48	6.71	0.08	0.01	9.28
	平成29年度	2.64	7.03	0.09	0.01	9.77
	平成30年度	2.79	7.35	0.09	0.01	10.24
	平成31年度	2.94	7.67	0.10	0.01	10.72
	平成32年度	3.10	8.00	0.10	0.01	11.21
	平成33年度	3.25	8.32	0.10	0.01	11.68

表 4 - 4 直接搬入ごみ排出量における年度別減量化目標

		燃えるごみ		燃えないごみ	
		家庭系	事業系	家庭系	事業系
年 度 別 減 量 化 目 標	平成19年度	5.0%	5.0%	0.5%	0.5%
	平成20年度	5.0%	5.0%	0.5%	0.5%
	平成21年度	10.0%	10.0%	1.0%	1.0%
	平成22年度	15.0%	15.0%	1.5%	1.5%
	平成23年度	20.0%	20.0%	2.0%	2.0%
	平成24年度	25.0%	25.0%	2.5%	2.5%
	平成25年度	30.0%	30.0%	3.0%	3.0%
	平成26年度	35.0%	35.0%	3.5%	3.5%
	平成27年度	37.0%	37.0%	3.5%	3.5%
	平成28年度	40.0%	40.0%	4.0%	4.0%
	平成29年度	42.0%	42.0%	4.0%	4.0%
	平成30年度	45.0%	45.0%	4.5%	4.5%
	平成31年度	47.0%	47.0%	4.5%	4.5%
	平成32年度	49.0%	49.0%	5.0%	5.0%
平成33年度	50.0%	50.0%	5.0%	5.0%	
H33年度に対する減量化率		50.0%	50.0%	5.0%	5.0%

表4-5 ごみ減量化目標を考慮した収集ごみ排出量の実績とその見込み

単位：t/日

	燃え る ご み		燃 え な い ご み		資 源 ご み				有害ごみ	合 計
	家庭系	事業系	家庭系	事業系	新聞紙	雑誌類	タ ^ン ホ ^ー ル	ハ ^ッ トホ ^ー トル		
平成9年度	45.59	8.83	6.55	0.53	—	—	—	—	—	61.50
平成10年度	41.59	10.86	6.22	0.67	1.12	1.29	0.13	—	—	61.88
平成11年度	38.58	11.65	5.73	0.96	1.42	1.56	0.23	0.11	—	60.24
平成12年度	36.22	12.80	5.41	1.02	1.93	1.98	1.01	0.30	0.028	60.70
平成13年度	36.18	13.14	4.68	1.11	2.18	2.23	1.22	0.25	0.079	61.07
平成14年度	35.70	13.64	4.60	1.15	2.32	2.42	1.27	0.35	0.085	61.54
平成15年度	36.13	14.08	4.55	1.19	2.34	2.21	1.29	0.28	0.078	62.15
平成16年度	35.72	15.76	4.18	1.12	2.36	2.19	1.08	0.32	0.076	62.81
平成17年度	36.93	16.81	4.19	1.12	2.53	2.04	1.10	0.37	0.072	65.16
平成18年度	36.99	14.68	3.58	0.82	2.70	1.93	1.43	0.49	0.062	62.68
平成19年度	36.53	14.30	3.34	1.15	2.95	2.31	1.31	0.52	0.074	62.48
平成20年度	36.70	14.59	3.12	1.17	3.09	2.35	1.34	0.55	0.073	62.98
平成21年度	36.49	14.09	2.90	1.17	3.21	2.37	1.38	0.57	0.073	62.25
平成22年度	36.27	13.56	2.70	1.15	3.33	2.38	1.40	0.60	0.072	61.46
平成23年度	36.05	13.00	2.51	1.13	3.45	2.40	1.43	0.63	0.072	60.67
平成24年度	35.82	12.40	2.34	1.11	3.56	2.42	1.46	0.65	0.072	59.83
平成25年度	35.60	11.77	2.17	1.08	3.67	2.43	1.49	0.67	0.071	58.95
平成26年度	35.37	11.11	2.02	1.06	3.77	2.44	1.52	0.69	0.071	58.05
平成27年度	35.32	10.94	1.89	1.06	3.87	2.46	1.55	0.72	0.070	57.88
平成28年度	35.27	10.58	1.76	1.04	3.97	2.47	1.58	0.75	0.070	57.49
平成29年度	35.23	10.38	1.64	1.04	4.06	2.48	1.63	0.77	0.069	57.30
平成30年度	35.17	9.98	1.53	1.02	4.15	2.48	1.66	0.79	0.069	56.85
平成31年度	35.20	9.75	1.42	1.02	4.24	2.50	1.70	0.81	0.068	56.71
平成32年度	35.18	9.70	1.32	1.02	4.33	2.50	1.74	0.84	0.068	56.70
平成33年度	35.20	9.45	1.24	1.01	4.41	2.52	1.78	0.86	0.068	56.54

表 4 - 6 ごみ減量化目標を考慮した直接搬入ごみ排出量の実績とその見込み

単位：t/日

		燃えるごみ		燃えないごみ		合計
		家庭系	事業系	家庭系	事業系	
実績	平成9年度	0.03	1.42	0.01	0.11	1.57
	平成10年度	0.09	1.44	0.02	0.11	1.66
	平成11年度	0.14	1.37	0.02	0.09	1.62
	平成12年度	0.17	1.82	0.03	0.15	2.17
	平成13年度	0.16	1.81	0.02	0.06	2.05
	平成14年度	0.23	2.16	0.03	0.05	2.47
	平成15年度	0.39	2.32	0.02	0.05	2.78
	平成16年度	0.58	2.35	0.02	0.04	2.99
	平成17年度	0.65	3.53	0.04	0.05	4.27
	平成18年度	1.16	3.62	0.06	0.04	4.88
予測	平成19年度	1.04	3.61	0.05	0.03	4.73
	平成20年度	1.19	3.92	0.05	0.03	5.19
	平成21年度	1.26	4.01	0.06	0.03	5.36
	平成22年度	1.33	4.05	0.06	0.02	5.46
	平成23年度	1.37	4.07	0.06	0.02	5.52
	平成24年度	1.40	4.07	0.07	0.02	5.56
	平成25年度	1.41	4.02	0.07	0.02	5.52
	平成26年度	1.41	3.94	0.08	0.01	5.44
	平成27年度	1.47	4.02	0.08	0.01	5.58
	平成28年度	1.49	4.03	0.08	0.01	5.61
	平成29年度	1.53	4.08	0.09	0.01	5.71
	平成30年度	1.53	4.04	0.09	0.01	5.67
	平成31年度	1.56	4.07	0.10	0.01	5.74
	平成32年度	1.58	4.08	0.10	0.01	5.77
	平成33年度	1.63	4.16	0.10	0.01	5.90

資料5 ごみ処理・埋立処分計画の予測（本編 P65～68）

本市としては中間処理施設を所有していないため、中間処理計画は五泉地域衛生施設組合と協議しながら、計画を推進する必要があります。よって、ここでは既存資料等を参考にして、今後中間処理をどのように推進していくべきかを検討します。ただし、ごみの排出抑制状況や中間処理施設の処理状況により大きく変動することが考えられますので、定期的に見直す必要があります。

1. 五泉地域衛生施設組合 ごみ焼却処理施設

ごみ焼却処理施設の必要処理能力の算出方法は次のとおりです。

$$\text{必要処理能力} = \text{年間日平均処理量} \div \text{実稼働率} \div \text{調整稼働率}$$

※ 実稼働率

実稼働率とは、年間実稼働日数を 365 日で除し算出する。

- ・年間実稼働日数：365 日－85 日（年間停止日数）＝280 日
- ・年間停止日数：補修整備期間 30 日＋補修点検期間 15 日×2 回＋全停止期間 7 日＋起動に要する日数 3 日×3 回＋停止に要する日数 3 日×3 回＝85 日

※ 調整稼働率

焼却施設の稼働日調整分稼働率（「調整稼働率」という）は、96%とする。ここに示す稼働率とは、正常に運転される予定の日でも故障の修理、やむ得ない一時休止等のため処理能力が低下することを考慮した係数である。

ごみ排出量の予測結果より、処理量が最大となる年度は平成 20 年度となるので将来必要となる最大処理能力は次のとおりとなります。

《平成 20 年度のごみ処理量》

・五泉市	: 56.77 t / 日
・阿賀野市（安田地区）	: 8.93 t / 日（阿賀野市一般廃棄物処理基本計画参照）
計	: 65.70 t / 日

$$\begin{aligned} \text{必要最大処理能力} &= 65.70 \text{ t / 日} \div (280 \text{ 日} \div 365 \text{ 日}) \div 0.96 \\ &= 89.21 \text{ t / 日} \approx \underline{\underline{90 \text{ t / 日}}} \end{aligned}$$

表 5 - 1 に平成 20 年度から平成 33 年度までの五泉地域衛生施設組合
ごみ焼却処理施設の必要処理能力を示します。

表 5 - 1 必要処理能力の見込み
(五泉地域衛生施設組合 ごみ焼却処理施設)

【現有処理能力：150 t / 日】

	焼却処理対象ごみ量			実稼働率	調整稼働率	必要最大 処理能力			
	五 泉 市	阿 賀 野 市 安 田 地 区	合 計						
平成20年度	56.77	8.93	65.70	÷	0.76712	÷	0.96	=	89.21
平成21年度	56.22	8.67	64.89	÷	0.76712	÷	0.96	=	88.11
平成22年度	55.58	8.43	64.01	÷	0.76712	÷	0.96	=	86.92
平成23年度	54.86	8.31	63.17	÷	0.76712	÷	0.96	=	85.78
平成24年度	54.06	8.21	62.27	÷	0.76712	÷	0.96	=	84.56
平成25年度	53.17	8.19	61.36	÷	0.76712	÷	0.96	=	83.32
平成26年度	52.20	8.19	60.39	÷	0.76712	÷	0.96	=	82.00
平成27年度	52.12	8.16	60.28	÷	0.76712	÷	0.96	=	81.85
平成28年度	51.74	8.19	59.93	÷	0.76712	÷	0.96	=	81.38
平成29年度	51.59	8.27	59.86	÷	0.76712	÷	0.96	=	81.28
平成30年度	51.09	8.40	59.49	÷	0.76712	÷	0.96	=	80.78
平成31年度	50.96	8.52	59.48	÷	0.76712	÷	0.96	=	80.77
平成32年度	50.92	—	—	÷	0.76712	÷	0.96	=	—
平成33年度	50.82	—	—	÷	0.76712	÷	0.96	=	—

2. 五泉地域衛生施設組合 大沢最終処分場

平成 33 年度までの必要埋立容量の予測を表 6 - 2 に示します。平成 33 年度における必要埋立容量は、焼却残渣埋立量が 2,019m³、し尿焼却残渣が 162m³、不燃残渣が 511m³であり、覆土を含めた埋立総量は 3,050m³、平成 19 年度から平成 33 年度までの必要埋立容量は 46,952m³となります。

平成 18 年 3 月末における大沢最終処分場の埋立残容量は、14,238m³であることから平成 23 年にはほぼ埋立完了になると予想されます。

表5-2 埋立処分量の予測（五泉地域衛生施設組合 大沢最終処分場）

	埋立重量 (t/年)			埋立容量 (m ³ /年)					残余容量 (m ³)		
	ごみ 焼却残渣	し尿 焼却残渣	不燃残渣	計	ごみ 焼却残渣	し尿 焼却残渣	不燃残渣	計		覆土	合計
実績											
	平成16年度	3,159	103	—	3,262	2,477	171	2,648	247	2,895	—
	平成17年度	3,534	95	—	3,629	2,767	159	2,926	312	3,238	—
	平成18年度	3,065	93	467	3,625	2,406	154	2,918	585	3,503	14,238
	平成19年度	2,884	97	653	3,634	2,218	162	2,883	383	3,266	10,972
	平成20年度	2,909	97	657	3,663	2,238	162	2,905	386	3,291	7,681
	平成21年度	2,873	97	657	3,627	2,210	162	2,877	383	3,260	4,421
	平成22年度	2,836	97	650	3,583	2,182	162	2,844	378	3,222	1,199
	平成23年度	2,796	97	650	3,543	2,151	162	2,813	374	3,187	▲ 1,988
	平成24年度	2,756	97	650	3,502	2,120	162	2,782	370	3,152	▲ 5,140
	平成25年度	2,716	97	646	3,459	2,089	162	2,748	365	3,113	▲ 8,253
	平成26年度	2,672	97	646	3,415	2,055	162	2,714	361	3,075	▲ 11,328
	平成27年度	2,668	97	650	3,415	2,052	162	2,714	361	3,075	▲ 14,403
	平成28年度	2,650	97	650	3,397	2,038	162	2,700	359	3,059	▲ 17,462
	平成29年度	2,650	97	650	3,397	2,038	162	2,700	359	3,059	▲ 20,521
	平成30年度	2,628	97	653	3,378	2,022	162	2,687	357	3,044	▲ 23,565
	平成31年度	2,632	97	657	3,386	2,024	162	2,691	358	3,049	▲ 26,614
	平成32年度	2,628	97	661	3,386	2,022	162	2,692	358	3,050	▲ 29,664
	平成33年度	2,624	97	664	3,386	2,019	162	2,692	358	3,050	▲ 32,714

※ ごみ焼却残渣及び不燃残渣の埋立重量は、五泉市の予測結果に阿賀野市の安田地区分（阿賀野市一般廃棄物処理基本計画参照）を加えて算出している。

し尿焼却残渣の埋立重量は、平成16年度から平成18年度の平均値を参考値として採用している。

体積換算係数は組合実績より次のように設定している。

ごみ焼却残渣：1.3 t/m³、し尿焼却残渣：0.6 t/m³、不燃残渣：1.3 t/m³

覆土割合は、平成16年度から平成18年度の平均値である13.3%を採用している。

資料 6 将来のし尿及び浄化槽汚泥の排出量の予測（本編 P101～103）

1. 予測方法の概要

将来のし尿及び浄化槽汚泥排出量を算出・予測するにあたっては次の方法を用いて行います。

- ① 過去の実績に基づき、将来の生活排水処理形態別人口を予測します。
- ② 過去の実績から発生原単位（し尿、浄化槽汚泥の1人1日当たりの排出量）を算出し、計画発生原単位を設定します。
- ③ ①で予測した人口に、②で設定した発生原単位を乗じて、し尿及び浄化槽汚泥排出量を算出します。

これらの予測手順を表 6-1-1 に示します。

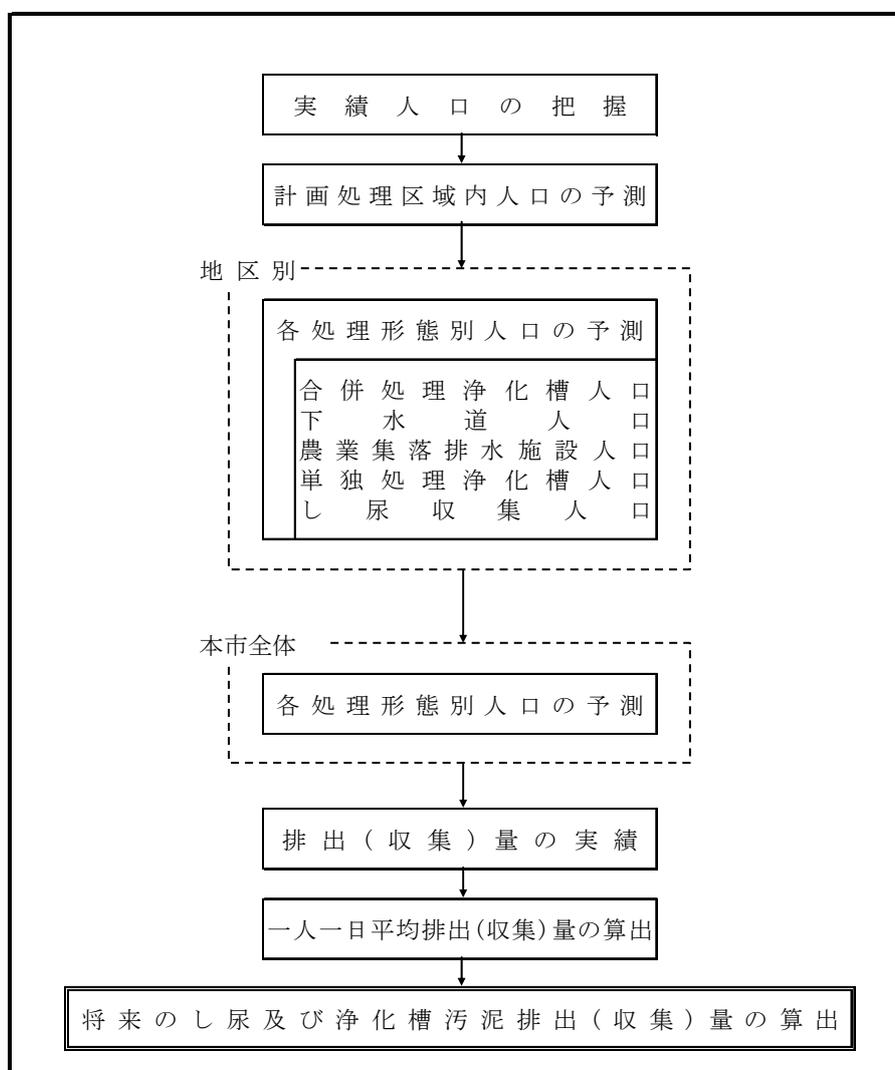


表 6-1-1 し尿及び浄化槽汚泥排出（収集）量の予測手順

2. 行政区域内人口

行政区域内人口については、本編 第3章 第4節 第1項 1. 計画処理区域内人口と同じであるため、そこで示されている人口を採用します。

3. 生活排水処理形態別人口

1) 生活排水処理形態別人口の実績

平成9年度から平成18年度の処理形態別人口を表6-3-1及び図6-3-1に示します。

I 合併処理浄化槽人口

合併処理浄化槽人口は年々増加しており、平成19年3月末で5,397人であります。

II 下水道人口

公共下水道は整備区域の増加に伴い、処理人口も年々増加しています。平成19年3月末の下水道人口は21,686人であります。

III 単独処理浄化槽人口

単独処理浄化槽人口は、合併処理浄化槽及び下水道の整備に伴い緩やかに減少しています。平成19年3月末の単独処理浄化槽人口は19,959人であります。

IV し尿収集人口

し尿収集人口は、住民の水洗化志向の影響により年々減少しています。平成19年3月末のし尿収集人口は10,639人であります。

V その他の処理人口

農業集落排水施設人口、自家処理人口及びその他の処理人口はいません。

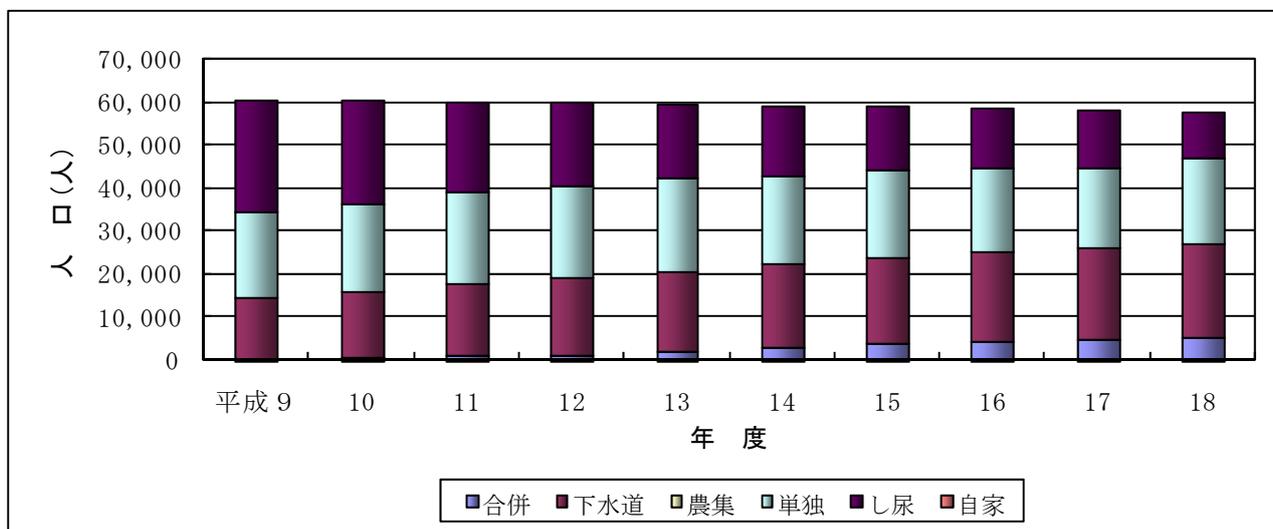


図6-3-1 生活排水処理形態別人口の推移

表 6 - 3 - 1 生活排水処理形態別人口の実績

		年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
生活排水処理形態別人口	1. 計画処理区域内人口	(人)	60,786	60,606	60,339	60,025	59,727
	2. 水洗化・生活雑排水処理人口	(人)	14,506	16,110	18,122	19,216	20,902
	(1) コミュニティ・プラント人口	(人)	0	0	0	0	0
	(2) 合併処理浄化槽人口	(人)	354	872	1,180	1,464	2,181
	(3) 下水道人口	(人)	14,152	15,238	16,942	17,752	18,721
	(4) 農業集落排水施設人口	(人)	0	0	0	0	0
	3. 水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽人口)	(人)	19,979	20,501	21,072	21,564	21,415
	4. 非水洗化人口	(人)	26,301	23,995	21,145	19,245	17,410
	(1) し尿収集人口	(人)	26,301	23,995	21,145	19,245	17,410
	(2) 自家処理人口	(人)	0	0	0	0	0
5. 計画処理区域外人口	(人)	0	0	0	0	0	

		年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
生活排水処理率	(%)		23.9	26.6	30.0	32.0	35.0
水洗化率	(%)		56.7	60.4	65.0	67.9	70.9

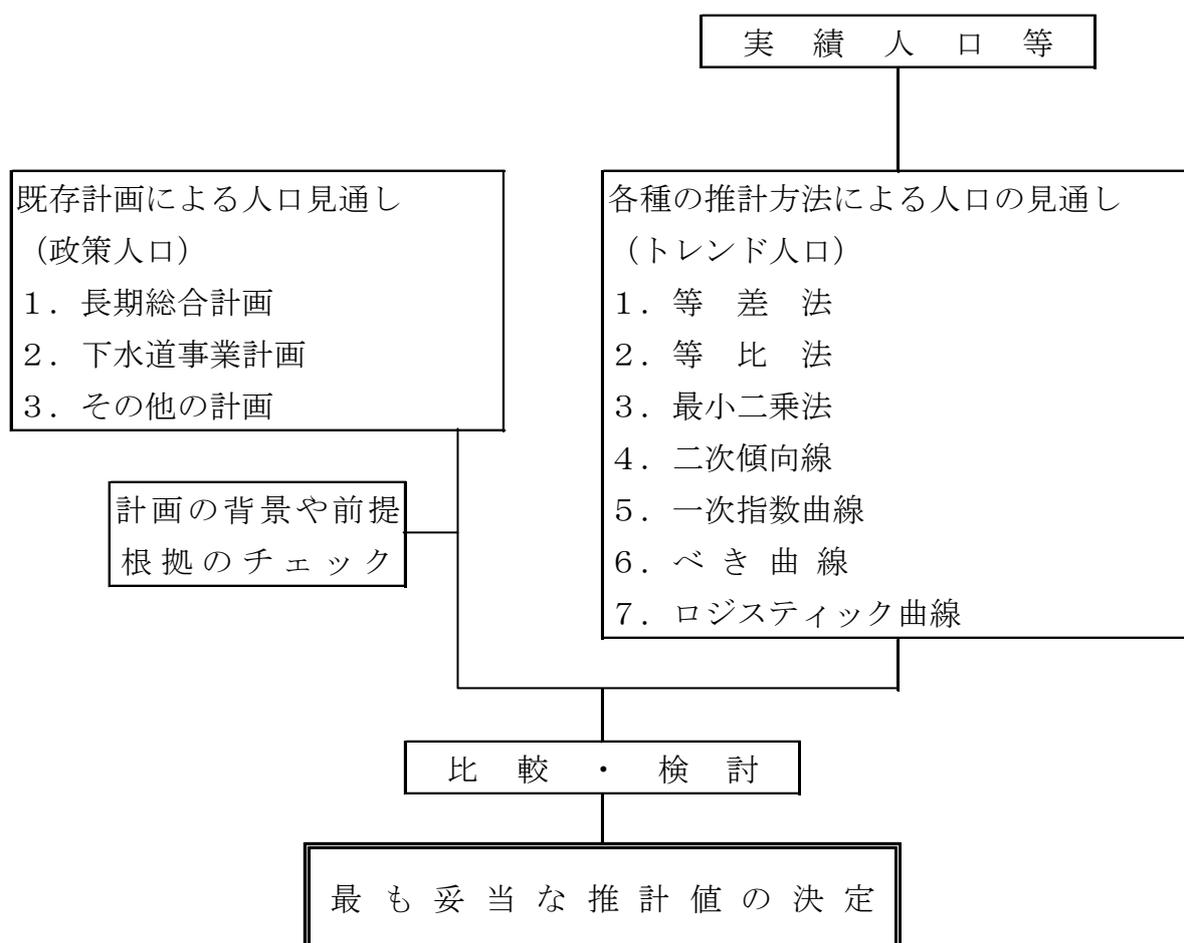
		年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
生活排水処理形態別人口	1. 計画処理区域内人口	(人)	59,389	59,163	58,704	58,162	57,681
	2. 水洗化・生活雑排水処理人口	(人)	22,354	24,133	25,454	26,450	27,083
	(1) コミュニティ・プラント人口	(人)	0	0	0	0	0
	(2) 合併処理浄化槽人口	(人)	2,907	3,796	4,303	4,818	5,397
	(3) 下水道人口	(人)	19,447	20,337	21,151	21,632	21,686
	(4) 農業集落排水施設人口	(人)	0	0	0	0	0
	3. 水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽人口)	(人)	20,633	20,315	19,253	18,472	19,959
	4. 非水洗化人口	(人)	16,402	14,715	13,997	13,240	10,639
	(1) し尿収集人口	(人)	16,402	14,715	13,997	13,240	10,639
	(2) 自家処理人口	(人)	0	0	0	0	0
5. 計画処理区域外人口	(人)	0	0	0	0	0	

		年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
生活排水処理率	(%)		37.6	40.8	43.4	45.5	47.0
水洗化率	(%)		72.4	75.1	76.2	77.2	81.6

2) 生活排水処理形態別人口の予測

将来の処理形態別人口の見通しに関しては、以下の方法により比較・検討し、最も妥当な推計値を決定します。

その後、行政区域内人口の予測値と処理形態別人口の予測値の総和が等しくなるように修正を行い、その修正予測値を将来予測値として採用します。



処理形態別人口の将来予測にあたっては、過去の実績をもとに、厚生省監修のごみ処理施設構造指針解説による7法の推計方法を用いて、実績のトレンドと将来のトレンドが無理のない線を描くように留意します。

本市における処理形態別人口の推計値は、次に示す理由にて採用しています。

【合併処理浄化槽人口】

合併処理浄化槽人口は過去10年間において緩やかに増加しています。将来の合併処理浄化槽人口も緩やかに増加していくものと考えら

れますので、緩やかな増加傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も 1 に近い「べき曲線」による推計値を将来の合併処理浄化槽人口として採用します。

【下水道人口】

公共下水道は整備区域の拡大に伴い下水道人口は増加しています。将来の下水道人口も年々増加していくものと考えられますので、増加傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も 1 に近い「べき曲線」による推計値を将来の下水道人口として採用します。

【単独処理浄化槽人口】

単独処理浄化槽人口は平成 12 年度をピークとして、それ以降は平成 18 年度を除いて緩やかな減少傾向を示しています。将来の単独処理浄化槽人口も緩やかに減少していくものと考えられますので、緩やかな減少傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も 1 に近い「等比法」による推計値を将来の単独処理浄化槽人口として採用します。

【し尿収集人口】

し尿収集人口は過去 10 年間に於いて減少傾向を示しています。将来のし尿収集人口も減少していくものと考えられますが、急激な減少を示すことは考えにくいので減少傾向を示している推計式のうち、相関係数が最も 1 に近い「等比法」による推計値を将来のし尿収集人口として採用します。

【その他人口】

コミュニティ・プラント人口、農業集落排水施設人口及び自家処理人口については、実績がないために予測の対象とはしていません。

以上の結果より、表 6-3-2 に本市における生活排水処理形態別人口の見込みを、図 6-3-1～4 に 7 法の推計方法における処理形態別人口の実績と将来予測の結果を示します。

表 6 - 3 - 2 生活排水処理形態別人口の見込み

【予測された生活排水処理形態別人口】

		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
生活排水処理形態別人口	1. 計画処理区域内人口 ①	(人)	58,583	58,792	59,062	59,389	59,773	60,210	60,695	61,226
	2. 水洗化・生活雑排水処理人口	(人)	28,672	29,797	30,900	31,983	33,053	34,113	35,165	36,211
	(1) コミュニティ・プラント人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 合併処理浄化槽人口	(人)	5,850	6,465	7,087	7,714	8,347	8,985	9,628	10,275
	(3) 下水道人口	(人)	22,822	23,332	23,813	24,269	24,706	25,128	25,537	25,936
	(4) 農(漁)業集落排水施設人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽人口)	(人)	19,957	19,955	19,952	19,950	19,948	19,946	19,943	19,941
	4. 非水洗化人口	(人)	9,954	9,040	8,210	7,456	6,772	6,151	5,587	5,074
	(1) し尿収集人口	(人)	9,954	9,040	8,210	7,456	6,772	6,151	5,587	5,074
	(2) 自家処理人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 計画処理区域外人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	

【予測された計画区域内人口】

1. 計画処理区域内予測人口 ②	(人)	57,586	57,246	56,906	56,566	56,225	55,885	55,545	55,204
①-②	(人)	-997	-1,546	-2,156	-2,823	-3,548	-4,325	-5,150	-6,022

【予測された生活排水処理形態別人口】

		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
生活排水処理形態別人口	1. 計画処理区域内人口 ①	(人)	61,802	62,417	63,068	63,753	64,475	65,217	65,990
	2. 水洗化・生活雑排水処理人口	(人)	37,254	38,294	39,331	40,367	41,408	42,439	43,475
	(1) コミュニティ・プラント人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 合併処理浄化槽人口	(人)	10,927	11,583	12,242	12,906	13,573	14,244	14,918
	(3) 下水道人口	(人)	26,327	26,711	27,089	27,461	27,835	28,195	28,557
	(4) 農(漁)業集落排水施設人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0
	3. 水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽人口)	(人)	19,939	19,937	19,935	19,932	19,930	19,928	19,926
	4. 非水洗化人口	(人)	4,609	4,186	3,802	3,454	3,137	2,850	2,589
	(1) し尿収集人口	(人)	4,609	4,186	3,802	3,454	3,137	2,850	2,589
	(2) 自家処理人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0
5. 計画処理区域外人口	(人)	0	0	0	0	0	0	0	

【予測された計画区域内人口】

1. 計画処理区域内予測人口 ②	(人)	54,864	54,524	54,525	54,526	54,527	54,528	54,529
①-②	(人)	-6,938	-7,893	-8,543	-9,227	-9,948	-10,689	-11,461

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
相関係数		0.993142	0.949354	0.993143	0.995578	0.956576	0.995627	#NUM!	
実績	平成	9	354	354	354	354	354	354	
		10	872	872	872	872	872	872	
		11	1,180	1,180	1,180	1,180	1,180	1,180	
		12	1,464	1,464	1,464	1,464	1,464	1,464	
		13	2,181	2,181	2,181	2,181	2,181	2,181	
		14	2,907	2,907	2,907	2,907	2,907	2,907	
		15	3,796	3,796	3,796	3,796	3,796	3,796	
		16	4,303	4,303	4,303	4,303	4,303	4,303	
		17	4,818	4,818	4,818	4,818	4,818	4,818	
	18	5,397	5,397	5,397	5,397	5,397	5,397		
	予測	19	5,957	7,305	5,939	6,295	9,618	5,850	#NUM!
		20	6,518	9,887	6,523	7,073	12,717	6,465	#NUM!
		21	7,078	13,382	7,107	7,883	16,816	7,087	#NUM!
		22	7,638	18,113	7,690	8,726	22,237	7,714	#NUM!
		23	8,199	24,516	8,274	9,601	29,404	8,347	#NUM!
		24	8,759	33,183	8,858	10,508	38,881	8,985	#NUM!
		25	9,319	44,914	9,442	11,448	51,413	9,628	#NUM!
		26	9,880	60,791	10,026	12,420	67,985	10,275	#NUM!
27		10,440	82,281	10,610	13,425	89,897	10,927	#NUM!	
28		11,000	111,369	11,194	14,462	118,873	11,583	#NUM!	
29		11,561	150,738	11,778	15,531	157,188	12,243	#NUM!	
30		12,121	204,026	12,362	16,633	207,852	12,906	#NUM!	
31		12,681	276,150	12,946	17,767	274,847	13,573	#NUM!	
32		13,242	373,772	13,530	18,933	363,434	14,244	#NUM!	
33		13,802	505,903	14,114	20,132	480,576	14,918	#NUM!	
採用推計式							採用値		

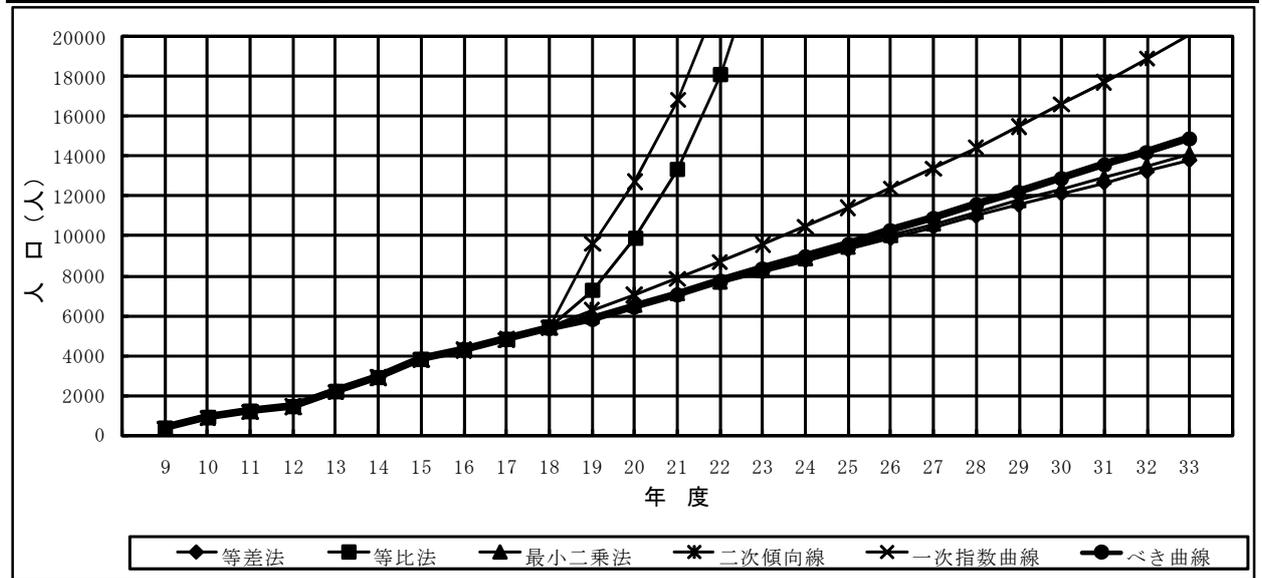


図 6 - 3 - 1 7 法の推計方法における合併処理浄化槽人口の実績と将来予測

推計方法		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
相関係数		0.982208	0.969791	0.982207	0.998164	0.969748	0.990458	0.997496			
実績	平成	9	14,152	14,152	14,152	14,152	14,152	14,152	14,152		
		10	15,238	15,238	15,238	15,238	15,238	15,238	15,238		
		11	16,942	16,942	16,942	16,942	16,942	16,942	16,942		
		12	17,752	17,752	17,752	17,752	17,752	17,752	17,752		
		13	18,721	18,721	18,721	18,721	18,721	18,721	18,721		
		14	19,447	19,447	19,447	19,447	19,447	19,447	19,447		
		15	20,337	20,337	20,337	20,337	20,337	20,337	20,337		
		16	21,151	21,151	21,151	21,151	21,151	21,151	21,151		
		17	21,632	21,632	21,632	21,632	21,632	21,632	21,632		
		18	21,686	21,686	21,686	21,686	21,686	21,686	21,686		
		予測	平成	19	22,523	22,739	23,442	22,087	24,068	23,565	22,078
				20	23,360	23,844	24,303	22,209	25,240	24,368	22,296
				21	24,197	25,002	25,164	22,207	26,470	25,161	22,464
				22	25,034	26,216	26,026	22,083	27,760	25,944	22,594
				23	25,872	27,489	26,887	21,835	29,112	26,719	22,693
				24	26,709	28,824	27,748	21,464	30,530	27,486	22,770
				25	27,546	30,224	28,609	20,970	32,018	28,246	22,828
				26	28,383	31,692	29,470	20,352	33,578	28,999	22,873
27	29,220			33,231	30,331	19,612	35,214	29,747	22,907		
28	30,057			34,845	31,192	18,748	36,930	30,488	22,933		
29	30,894			36,537	32,054	17,761	38,729	31,224	22,953		
30	31,731			38,311	32,915	16,651	40,616	31,954	22,968		
31	32,568			40,172	33,776	15,417	42,595	32,680	22,980		
32	33,406			42,123	34,637	14,061	44,670	33,401	22,989		
33	34,243			44,169	35,498	12,581	46,846	34,118	22,995		
採用推計式							採用値				

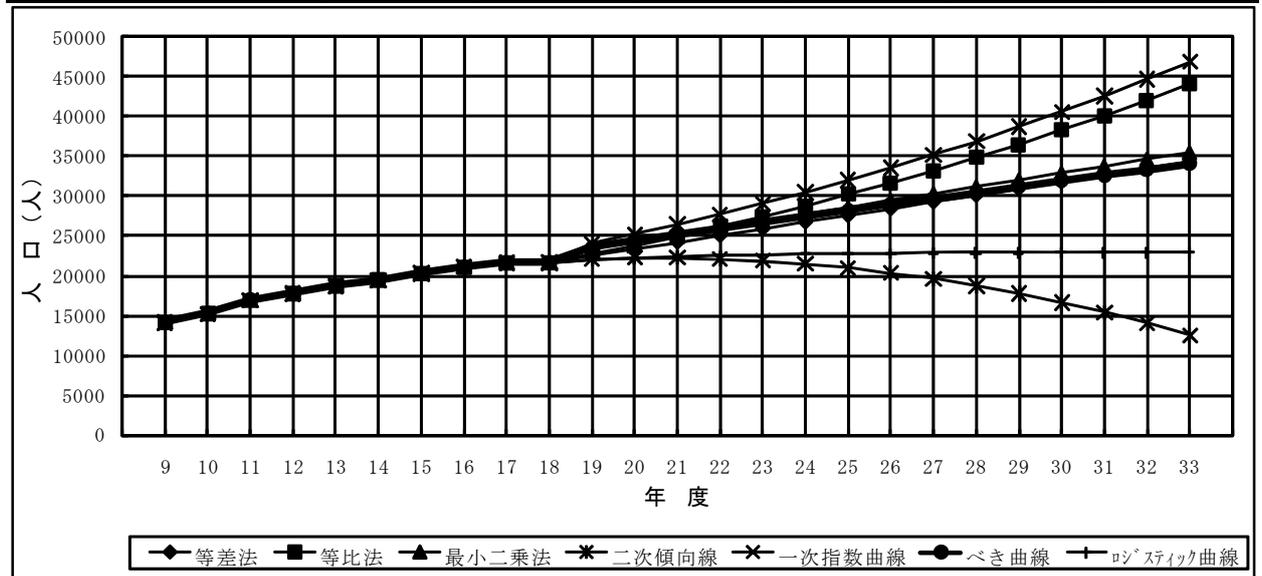


図 6 - 3 - 2 7 法の推計方法における下水道人口の実績と将来予測

推計方法		① 等 差 法	② 等 比 法	③ 最小二乘法	④ 二次傾向線	⑤ 一次指数曲線	⑥ べき曲線	⑦ ロジスティック曲線			
相関係数		0.537514	0.537514	0.536999	0.735520	0.531535	#NUM!	#NUM!			
実績	平成	9	19,979	19,979	19,979	19,979	19,979	19,979	19,979		
		10	20,501	20,501	20,501	20,501	20,501	20,501	20,501		
		11	21,072	21,072	21,072	21,072	21,072	21,072	21,072		
		12	21,564	21,564	21,564	21,564	21,564	21,564	21,564		
		13	21,415	21,415	21,415	21,415	21,415	21,415	21,415		
		14	20,633	20,633	20,633	20,633	20,633	20,633	20,633		
		15	20,315	20,315	20,315	20,315	20,315	20,315	20,315		
		16	19,253	19,253	19,253	19,253	19,253	19,253	19,253		
		17	18,472	18,472	18,472	18,472	18,472	18,472	18,472		
		18	19,959	19,959	19,959	19,959	19,959	19,959	19,959		
		予測	平成	19	19,957	19,957	19,383	18,001	19,366	#NUM!	#NUM!
				20	19,955	19,955	19,213	17,078	19,202	#NUM!	#NUM!
				21	19,952	19,952	19,043	16,029	19,039	#NUM!	#NUM!
				22	19,950	19,950	18,874	14,854	18,877	#NUM!	#NUM!
				23	19,948	19,948	18,704	13,554	18,717	#NUM!	#NUM!
				24	19,946	19,946	18,534	12,128	18,558	#NUM!	#NUM!
				25	19,943	19,943	18,364	10,577	18,401	#NUM!	#NUM!
				26	19,941	19,941	18,195	8,900	18,245	#NUM!	#NUM!
27	19,939			19,939	18,025	7,097	18,090	#NUM!	#NUM!		
28	19,937			19,937	17,855	5,169	17,937	#NUM!	#NUM!		
29	19,935			19,935	17,685	3,115	17,784	#NUM!	#NUM!		
30	19,932			19,932	17,516	936	17,633	#NUM!	#NUM!		
31	19,930			19,930	17,346	-1,369	17,484	#NUM!	#NUM!		
32	19,928			19,928	17,176	-3,800	17,335	#NUM!	#NUM!		
33	19,926			19,926	17,006	-6,356	17,188	#NUM!	#NUM!		
採用推計式			採用値								

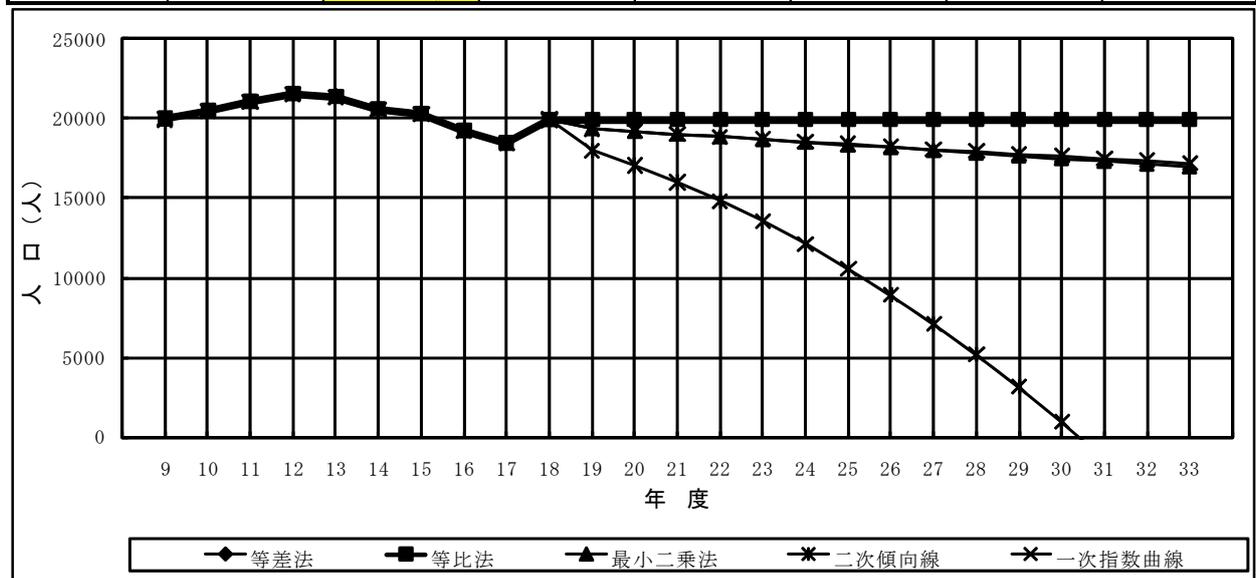


図 6 - 3 - 3 7 法の推計方法における単独処理浄化槽人口の実績と将来予測

推計方法	① 等 差 法	② 等 比 法	③ 最小二乘法	④ 二次傾向線	⑤ 一次指数曲線	⑥ べき曲線	⑦ ロジスティック曲線	
相関係数	0.984910	0.995283	0.984910	0.994708	0.994987	#NUM!	0.994426	
実績	平成 9	26,301	26,301	26,301	26,301	26,301	26,301	
	10	23,995	23,995	23,995	23,995	23,995	23,995	
	11	21,145	21,145	21,145	21,145	21,145	21,145	
	12	19,245	19,245	19,245	19,245	19,245	19,245	
	13	17,410	17,410	17,410	17,410	17,410	17,410	
	14	16,402	16,402	16,402	16,402	16,402	16,402	
	15	14,715	14,715	14,715	14,715	14,715	14,715	
	16	13,997	13,997	13,997	13,997	13,997	13,997	
	17	13,240	13,240	13,240	13,240	13,240	13,240	
	18	10,639	10,639	10,639	10,639	10,639	10,639	
	予測	19	8,899	9,621	8,823	10,810	10,286	#NUM!
		20	7,159	8,701	7,207	10,278	9,378	#NUM!
		21	5,418	7,868	5,592	9,926	8,551	#NUM!
		22	3,678	7,115	3,976	9,755	7,797	#NUM!
		23	1,938	6,435	2,360	9,765	7,109	#NUM!
		24	198	5,819	745	9,956	6,482	#NUM!
		25	-1,543	5,262	-871	10,327	5,911	#NUM!
		26	-3,283	4,759	-2,487	10,878	5,389	#NUM!
27		-5,023	4,304	-4,102	11,610	4,914	#NUM!	
28		-6,763	3,892	-5,718	12,523	4,480	#NUM!	
29		-8,503	3,519	-7,334	13,617	4,085	#NUM!	
30		-10,244	3,183	-8,949	14,891	3,725	#NUM!	
31		-11,984	2,878	-10,565	16,345	3,396	#NUM!	
32		-13,724	2,603	-12,180	17,981	3,097	#NUM!	
33		-15,464	2,354	-13,796	19,797	2,824	#NUM!	
採用推計式		採用値						

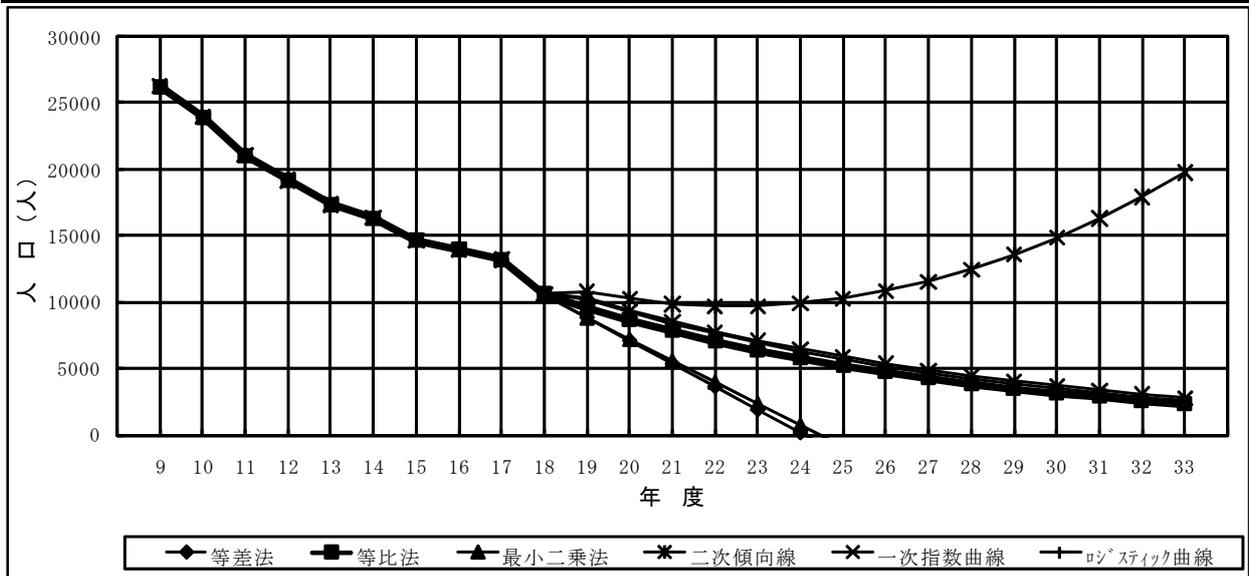


図 6 - 3 - 4 7 法の推計方法におけるし尿収集人口の実績と将来予測

3) 計画処理区域内人口と生活排水処理形態別人口における総和の修正

これまでの予測結果では、計画処理区域内人口と生活排水処理形態別人口の総和は一致せず、差が生じているために両者が一致するように修正を行います。なお、修正の手順は次のとおりとします。

- ① 計画処理区域内人口と処理形態別人口の総和との差を求めます。
- ② 推計式等により予測した処理形態別人口の人口割合を求めます。
- ③ し尿処理人口は減少率が著しく高くなっているため、予測されたし尿処理人口をそのまま採用します。
- ④ 合併処理浄化槽人口及び下水道人口は、①で求めた修正を要する差に、②で求めた割合を乗じて修正すべき人口を求めます。
- ⑤ 最後に、計画処理区域内人口から合併処理浄化槽人口、下水道人口及びし尿処理人口を引いた人口を単独処理浄化槽人口とします。

以上のような手順にて予測した生活排水処理形態別人口の修正を行った結果を表6-3-3に示します。

表 6 - 3 - 3 生活排水処理形態別人口の見込み：修正後

		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
生活排水処理形態別人口	1. 計画処理区域内人口 (人)		57,586	57,246	56,906	56,566	56,225	55,885	55,545	55,204
	2. 水洗化・生活雑排水処理人口 (人)		28,184	29,013	29,772	30,463	31,092	31,663	32,181	32,650
	(1) コミュニティ・プラント人口 (人)		0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 合併処理浄化槽人口 (人)		5,750	6,295	6,828	7,347	7,852	8,340	8,811	9,265
	(3) 下水道人口 (人)		22,434	22,718	22,944	23,116	23,240	23,323	23,370	23,385
	(4) 農(漁)業集落排水施設人口 (人)		0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽人口) (人)		19,448	19,193	18,924	18,647	18,361	18,071	17,777	17,480
	4. 非水洗化人口 (人)		9,954	9,040	8,210	7,456	6,772	6,151	5,587	5,074
	(1) し尿収集人口 (人)		9,954	9,040	8,210	7,456	6,772	6,151	5,587	5,074
	(2) 自家処理人口 (人)		0	0	0	0	0	0	0	0
5. 計画処理区域外人口 (人)		0	0	0	0	0	0	0	0	

		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	生活排水処理率 (%)		48.9	50.7	52.3	53.9	55.3	56.7	57.9	59.1
	水洗化率 (%)		82.7	84.2	85.6	86.8	88.0	89.0	89.9	90.8

		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
生活排水処理形態別人口	1. 計画処理区域内人口 (人)		54,864	54,524	54,525	54,526	54,527	54,528	54,529
	2. 水洗化・生活雑排水処理人口 (人)		33,071	33,452	34,004	34,525	35,019	35,484	35,925
	(1) コミュニティ・プラント人口 (人)		0	0	0	0	0	0	0
	(2) 合併処理浄化槽人口 (人)		9,700	10,118	10,584	11,038	11,479	11,910	12,327
	(3) 下水道人口 (人)		23,371	23,334	23,420	23,487	23,540	23,574	23,598
	(4) 農(漁)業集落排水施設人口 (人)		0	0	0	0	0	0	0
	3. 水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽人口) (人)		17,184	16,886	16,719	16,547	16,371	16,194	16,015
	4. 非水洗化人口 (人)		4,609	4,186	3,802	3,454	3,137	2,850	2,589
	(1) し尿収集人口 (人)		4,609	4,186	3,802	3,454	3,137	2,850	2,589
	(2) 自家処理人口 (人)		0	0	0	0	0	0	0
5. 計画処理区域外人口 (人)		0	0	0	0	0	0	0	

		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	生活排水処理率 (%)		60.3	61.4	62.4	63.3	64.2	65.1	65.9
	水洗化率 (%)		91.6	92.3	93.0	93.7	94.2	94.8	95.3

4. 一人一日平均排出量（原単位）の算出

し尿及び浄化槽汚泥の一人一日平均排出量（原単位）は、生活様式、習慣の変化、便槽構造の変化等により年々変化しています。特に、最近は簡易水洗便所（少量の洗浄水を使う水洗式便所であるが、収集形態から見ると汲取式便所である。）の普及や浄化槽における清掃の徹底による清掃頻度の増加より、原単位が増加する傾向にあります。

本市のし尿及び浄化槽汚泥の原単位については、環境省が毎年通知する「廃棄物処理施設整備計画策定要領」に基づく手法により算出します。

本市における平成16年度から平成18年度までの過去3年間の原単位を表6-4-1に示します。将来の排出量を算出する基礎数値となるし尿、単独処理浄化槽及び合併処理浄化槽の計画一人一日平均排出量は、過去3年間の平均値を用いて次のとおり設定します。

し尿	: 2. 1 7 0 / 人 / 日
単独処理浄化槽汚泥	: 0. 9 0 0 / 人 / 日
合併処理浄化槽汚泥	: 1. 8 0 0 / 人 / 日

5. 将来のし尿及び浄化槽汚泥排出（収集）量の算出

これまで算出、設定された生活排水処理形態別人口及び計画一人一日平均排出量をもとにして、将来のし尿及び浄化槽汚泥排出量を求めた結果を表6-5-1に示します。

表 6-4-1 1人1日平均排出量（原単位）及び月最大変動係数の実績

区分	平成16年度						平成17年度						平成18年度					
	し尿量 k0/月	浄化槽 汚泥量 k0/月	合併処理 汚泥量 k0/月	合計 k0/月	1日当り 収集量 k0/日	月変動 係数	し尿量 k0/月	浄化槽 汚泥量 k0/月	合併処理 汚泥量 k0/月	合計 k0/月	1日当り 収集量 k0/日	月変動 係数	し尿量 k0/月	浄化槽 汚泥量 k0/月	合併処理 汚泥量 k0/月	合計 k0/月	1日当り 収集量 k0/日	月変動 係数
処理人口	13,997 人						13,240 人						10,639 人					
単独処理 浄化槽人口	19,253 人						18,472 人						19,959 人					
合併処理 浄化槽人口	4,303 人						4,818 人						5,397 人					
内訳	し尿量 k0/月	浄化槽 汚泥量 k0/月	合併処理 汚泥量 k0/月	合計 k0/月	1日当り 収集量 k0/日	月変動 係数	し尿量 k0/月	浄化槽 汚泥量 k0/月	合併処理 汚泥量 k0/月	合計 k0/月	1日当り 収集量 k0/日	月変動 係数	し尿量 k0/月	浄化槽 汚泥量 k0/月	合併処理 汚泥量 k0/月	合計 k0/月	1日当り 収集量 k0/日	月変動 係数
4月	904	1,019	-	1,923	-	-	862	799	-	1,661	-	-	788	986	-	1,774	-	-
5月	809	835	-	1,644	-	-	799	866	-	1,665	-	-	839	998	-	1,837	-	-
6月	875	1,002	-	1,877	-	-	793	1,007	-	1,800	-	-	801	1,085	-	1,886	-	-
7月	899	1,098	-	1,997	-	-	794	1,066	-	1,860	-	-	799	1,043	-	1,842	-	-
8月	889	1,031	-	1,920	-	-	931	1,080	-	2,011	-	-	839	996	-	1,835	-	-
9月	768	873	-	1,641	-	-	795	814	-	1,609	-	-	684	839	-	1,523	-	-
10月	825	723	-	1,548	-	-	772	692	-	1,464	-	-	758	767	-	1,525	-	-
11月	860	577	-	1,437	-	-	769	600	-	1,369	-	-	721	599	-	1,320	-	-
12月	1,111	499	-	1,610	-	-	1,075	489	-	1,564	-	-	1,055	643	-	1,698	-	-
1月	708	410	-	1,118	-	-	663	313	-	976	-	-	641	388	-	1,029	-	-
2月	936	808	-	1,744	-	-	727	429	-	1,156	-	-	703	462	-	1,165	-	-
3月	936	808	-	1,744	-	-	838	968	-	1,806	-	-	736	904	-	1,640	-	-
計	10,520	6,856	2,827	20,203	-	-	9,123	9,123	3,165	18,941	-	-	9,364	6,164	3,546	19,074	-	-
1日平均収集 量(計/365日)	28.8	18.8	7.7	55.4	-	-	26.9	16.3	8.7	51.9	-	-	25.7	16.9	9.7	52.3	-	-
1人1日平均 排出量(し尿)	2.06 0/人/日						2.03 0/人/日						2.42 0/人/日					
〃 (単独汚泥)	0.98 0/人/日						0.88 0/人/日						0.85 0/人/日					
〃 (合併汚泥)	1.80 0/人/日						1.80 0/人/日						1.80 0/人/日					
平均実績原単位	2.17 0/人/日						0.90 0/人/日						1.80 0/人/日					

表 6 - 5 - 1 将来のし尿及び浄化槽汚泥排出量の見込み

年 度		平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26
生活排水処理形態別人口	1. 計画処理区域内人口 (人)	57,586	57,246	56,906	56,566	56,225	55,885	55,545	55,204
	2. 水洗化・生活雑排水処理人口 (人)	28,184	29,013	29,772	30,463	31,092	31,663	32,181	32,650
	(1) コミュニティ・プラント人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 合併処理浄化槽人口 (人)	5,750	6,295	6,828	7,347	7,852	8,340	8,811	9,265
	(3) 下水道人口 (人)	22,434	22,718	22,944	23,116	23,240	23,323	23,370	23,385
	(4) 農業集落排水施設人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 水洗化・生活雑排水未処理人口 (人) (単独処理浄化槽人口)	19,448	19,193	18,924	18,647	18,361	18,071	17,777	17,480
	4. 非水洗化人口 (人)	9,954	9,040	8,210	7,456	6,772	6,151	5,587	5,074
	(1) し尿収集人口 (人)	9,954	9,040	8,210	7,456	6,772	6,151	5,587	5,074
	(2) 自家処理人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 計画処理区域外人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0
	処理量	6. 合併処理浄化槽汚泥量 (kℓ/日)	10.4	11.3	12.3	13.2	14.1	15.0	15.9
7. 単独処理浄化槽汚泥量 (kℓ/日)		17.5	17.3	17.0	16.8	16.5	16.3	16.0	15.7
8. し尿収集量 (kℓ/日)		21.6	19.6	17.8	16.2	14.7	13.3	12.1	11.0
9. 合計処理量 (kℓ/日)		49.5	48.2	47.1	46.2	45.3	44.6	44.0	43.4
原単位	10. 合併処理浄化槽汚泥原単位 (ℓ/人/日)	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
	11. 単独処理浄化槽汚泥原単位 (ℓ/人/日)	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
	12. し尿原単位 (ℓ/人/日)	2.17	2.17	2.17	2.17	2.17	2.17	2.17	2.17

年 度		平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32	平成33
生活排水処理形態別人口	1. 計画処理区域内人口 (人)	54,864	54,524	54,525	54,526	54,527	54,528	54,529
	2. 水洗化・生活雑排水処理人口 (人)	33,071	33,452	34,004	34,525	35,019	35,484	35,925
	(1) コミュニティ・プラント人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 合併処理浄化槽人口 (人)	9,700	10,118	10,584	11,038	11,479	11,910	12,327
	(3) 下水道人口 (人)	23,371	23,334	23,420	23,487	23,540	23,574	23,598
	(4) 農業集落排水施設人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0
	3. 水洗化・生活雑排水未処理人口 (人) (単独処理浄化槽人口)	17,184	16,886	16,719	16,547	16,371	16,194	16,015
	4. 非水洗化人口 (人)	4,609	4,186	3,802	3,454	3,137	2,850	2,589
	(1) し尿収集人口 (人)	4,609	4,186	3,802	3,454	3,137	2,850	2,589
	(2) 自家処理人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0
	5. 計画処理区域外人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0
	処理量	6. 合併処理浄化槽汚泥量 (kℓ/日)	17.5	18.2	19.1	19.9	20.7	21.4
7. 単独処理浄化槽汚泥量 (kℓ/日)		15.5	15.2	15.0	14.9	14.7	14.6	14.4
8. し尿収集量 (kℓ/日)		10.0	9.1	8.3	7.5	6.8	6.2	5.6
9. 合計処理量 (kℓ/日)		43.0	42.5	42.4	42.3	42.2	42.2	42.2
原単位	10. 合併処理浄化槽汚泥原単位 (ℓ/人/日)	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
	11. 単独処理浄化槽汚泥原単位 (ℓ/人/日)	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
	12. し尿原単位 (ℓ/人/日)	2.17	2.17	2.17	2.17	2.17	2.17	2.17